



幸せを噛みしめる 三条市歯科口腔保健計画

楽しく会話

おいしく食べる

豊かな表現



猪熊 信夫さん

平成23年度 新潟県
「いきいき人生よい歯のコンクール」
80歳以上の部 優秀賞受賞



澁谷健太さん 広実さん

平成20年度
「新潟県母と子のよい歯のコンクール」
優秀賞受賞



佐藤 フミエさん

平成24年度 新潟県
「いきいき人生よい歯のコンクール」
80歳以上の部 最優秀賞受賞

平成25年3月
三条市

〔目 次〕

1	計画策定の趣旨等	1
(1)	計画策定の趣旨	1
(2)	計画の性格、法的根拠等、市における他の計画との関係	1
(3)	計画期間	1
2	計画の体系	2
3	計画の基本的な考え方	3
4	現状と課題	4
(1)	対象別にみた現状と問題点	4
①	妊婦	4
②	乳幼児	5
③	小・中学生・高校生	9
④	成人	12
⑤	高齢者	14
⑥	要介護者	15
⑦	障がい児・者	16
(2)	課題	17
5	取り組み	20
(1)	具体的な取り組み	20
(2)	目標	23
(3)	計画の推進体制	25
	資料編	26
・	調査資料	26
グループインタビューの概要		28
アンケートの概要		38
・	三条市健康づくり推進協議会開催状況	54
・	三条市歯科保健関係者会議開催状況	54
・	三条市歯科保健計画策定事務局連携会議開催状況	54
・	三条市健康づくり推進協議会委員名簿	55
・	三条市歯科保健関係者会議委員名簿	55

1 計画策定の趣旨等

(1) 計画策定の趣旨

歯と口の中の健康状態は、全身の健康に影響を与えるものであり、歯と口の中が健康であることは、食事や会話を楽しむなど、豊かで幸せな生活を送るための基となるものである。平成20年7月に全国初の新潟県歯科保健推進条例の施行、平成23年8月に歯科口腔保健の推進に関する法律の施行という国、県の動向を踏まえ、歯科疾患の予防とともに口腔機能に着目し、市民一人一人の生活の質を重視した「幸せを噛みしめる三条市歯科口腔保健計画」を策定する。

(2) 計画の性格、法的根拠等、市における他の計画との関係

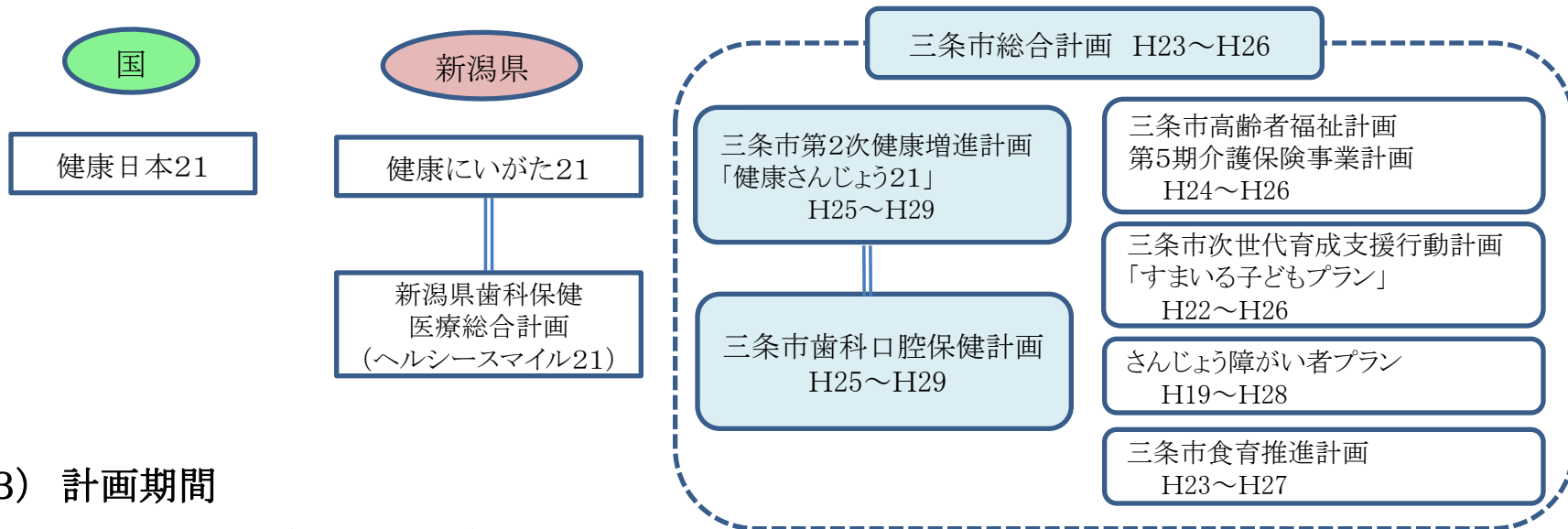
・法令等の根拠

この計画は、歯科口腔保健の推進に関する法律を根拠法とする。

・計画の性格、位置づけ

この計画は、三条市第2次健康増進計画「健康さんじょう21」と整合性を図り、一体的に策定する。

・市における他の計画との関係



(3) 計画期間

計画期間は、平成25年度から平成29年度の5年間とする。

2 計画の体系

基本理念

年をとっても、元気で、はつらつと暮らし続ける
～一人一人が実践し、未来へつなぐ健康づくり～

目指す姿(スローガン):おいしく食べる、楽しく会話、豊かな表現

基本となる視点

総合的な口腔の健康づくり
推進
～疾病予防と
歯と口の機能向上～

生涯を通じた歯科保健の
推進
～マイナス1歳から始まる
歯と口の健康づくり～

市民・行政・関係団体等が
連携し実践
～自助・互助・共助・公助～

対象別にみた「現状」と「問題点」・「課題」

基本目標

1 歯科疾患の予防

- ①むし歯予防
- ②歯周疾患予防
- ③歯の喪失の防止

2 生活の質の向上

- ①健全な歯と口の機能獲得・維持・向上
- ②身だしなみや美容面の向上

3 健康意識と生活習慣の改善

- ①歯と口の健康意識を高める
- ②正しい歯と口の手入れ
- ③生活習慣の改善

4 歯科受診と体制整備

- ①定期的な歯科健診・歯科医院受診
- ②受診しやすい体制整備

施策の展開

事業・取り組み

【自助・互助】
個人・家庭 等

【共助】
関係機関・団体

【公助】
行政

詳細P20

対象者	事業
共通	実施あり
妊婦	—
乳幼児	実施あり
小・中学生・高校生	実施あり
成人	実施あり
高齢者	実施あり
要介護者	実施あり
障がい児・者	実施あり

不足している対策

妊婦歯科健診
[子育て支援課]

1歳半～3歳児まで
4つの歯科健診で
フッ化物歯面塗布

継続性のあるフッ
化物洗口実施検討
[子育て支援課]

一部の小学校で
フッ化物洗口

実施校の拡大
[学校教育課]

歯周疾患検診
(40・50・60・70歳)

対象の拡大
20・30歳を追加
[健康づくり課]

3 計画の基本的な考え方

名称: 幸せを噛みしめる「三条市歯科口腔保健計画」

歯だけではなく、口腔の機能に着目
むし歯等の疾病対策だけにとどまらず、
市民一人一人の生活の質にこだわった
計画

基本理念

年をとっても、元気で、はつらつと暮らし続ける
～一人一人が実践し、未来へつなぐ健康づくり～

目指す姿(スローガン): おいしく食べる、楽しく会話、豊かな表現

歯と口腔の機能に着目

食べる(噛む、飲み込む、味わう) 喜び
話す(発音、会話、歌う) 楽しみ
感情表現(笑う、怒る)

基本となる視点

総合的な口腔の健康づくり推進
～疾病予防と歯と口の機能向上～

・歯だけでなく、口腔機能に着目

従来のむし歯や歯周疾患対策から、「食べる」、
「話す」等、生活に関わる口腔機能 にも着目
し、生活の質を向上する施策を推進する。

・総合的な施策の推進

保健、医療、社会福祉等関係者との連携によ
り、総合的な施策を推進する。

・国・県の目的や理念と合致

歯科口腔保健施策を総合的に推進すること
が法律・県条例に明記された。

生涯を通じた歯科保健の推進
～マイナス1歳から始まる
歯と口の健康づくり～

・出発は妊娠中 <マイナス1歳>

生涯にわたる疾病予防や健康づくりのため
に、望ましい生活習慣の獲得・定着を目指し
妊婦と子どもが対象となる妊娠中からとした。

**・ライフステージにそった切れ目のない
歯科口腔保健対策**

各分野の計画に記載されていた歯科保健
施策を一体化し、効果的に取り組む。

・施策が少ない対象への取り組みを強化

今まで対策がなかった妊婦や若年者、障が
い者等の取り組みを再考し、継続性のある
施策を推進する。

市民・行政・関係団体等が連携し実践
～自助・互助・共助・公助～

・市民自らが行動する計画

市民の声が反映され、市民一人一人が自ら
健康づくりのために行動することを重視する。

・役割の明確化による体制整備

自助・互助・共助・公助による推進の仕組み
により、個人の努力を支えながら、地域全体
が健康に向かう体制を整備する。

4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

① 妊婦

－健康状況－

- ・妊産婦医療費助成における歯科分の延べ件数(歯科検診は含まない)は430件であり、医療費助成件数全体の18.7%を占めている。助成額は年間452,362円であり、助成額全体の8%を占めている。
(＊妊産婦の負担する自己負担額から530円を差し引いた額の半額を助成)

<グループインタビュー結果> 【エンジョイパパママ教室 参加者の声】



- ・妊婦である自分自身がむし歯や歯周病になりたくない。
そのために気をつけていることは、「歯磨きをしっかり行うこと」「歯科医院に行くこと」
- ・妊娠、出産すると歯が悪くなりそうなので、妊娠前よりも注意が必要。
- ・これから生まれてくる子どもの歯をむし歯から守りたい。
- ・妊娠前からしばらく歯科医院には行っていない。
- ・歯科医院には痛みなどの症状がないと行かない。
- ・半年に1回定期的に歯科医院を受診している。
- ・歯や口の中のことに困りごとはない。

☆お口の健康

ひとくちメモ☆

「妊娠中でも歯科医院に行った方がいいの？」



妊娠中は女性ホルモン分泌の増加や、つわりで歯の手入れができない等により唾液が酸性に傾きます。このため口の中の細菌が増え、歯肉炎になりやすくなります。このことから、妊娠中はむし歯や歯周疾患にかかりやすくなります。

妊娠中に歯科医院を受診し、歯や口の中の健康状態を確認することが大切です。

妊娠を機に、あなたと赤ちゃんの“かかりつけ歯科医院”をつくりましょう！

【現状】

- ・妊婦を対象とする歯科保健の取り組みが少なく、妊婦の歯と口の健康実態が把握されていない。
- ・歯科治療を行う必要のある妊産婦がいる。
- ・歯科医院には、定期的に受診する人、症状があるときに受診する人、妊娠前から未受診の人がいる。
- ・歯や口の中の困りごとはほとんど出てこない。



【問題点】

- ・妊娠中はむし歯や歯周疾患にかかりやすくなる。
- ・妊娠中は歯科医院を受診しない。
- ・歯や口の中の健康に関心が低くなる。



②乳幼児

4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

ー健康状況ー

- ・1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児、5歳児の一人平均むし歯数、むし歯有病者率とも年々減少傾向にあり、ほぼ県平均を下回っている。
- ・1歳6か月児歯科健診、2歳児歯科健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診の受診率は90%以上である。
- ・歯科健診におけるフッ化物歯面塗布は、健診受診者の95%以上が実施している。希望しない理由は「定期的に歯科医院でフッ化物歯面塗布を行っているため」がほとんどである。

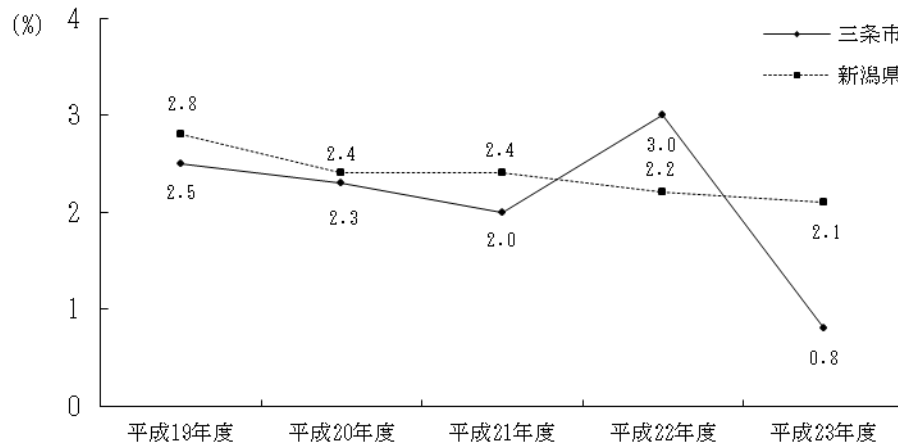


図1 1歳6か月児むし歯有病者率 資料:H23年歯科疾患実態調査 新潟県

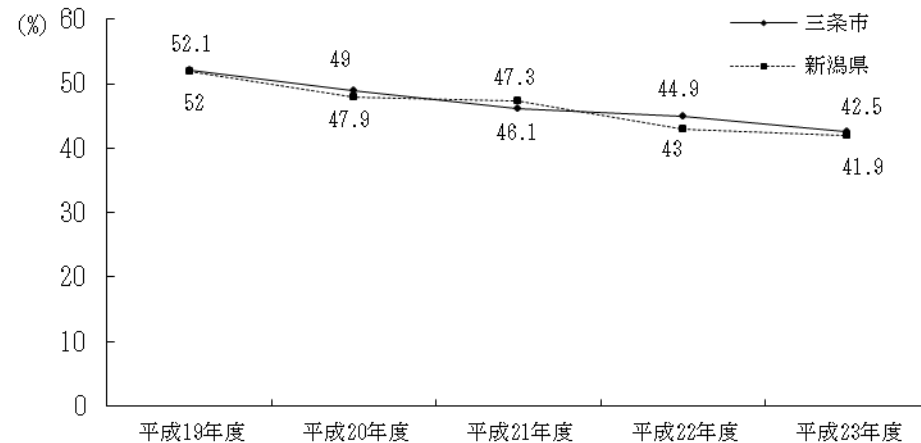


図3 5歳児むし歯有病者率 資料:H23年歯科疾患実態調査 新潟県

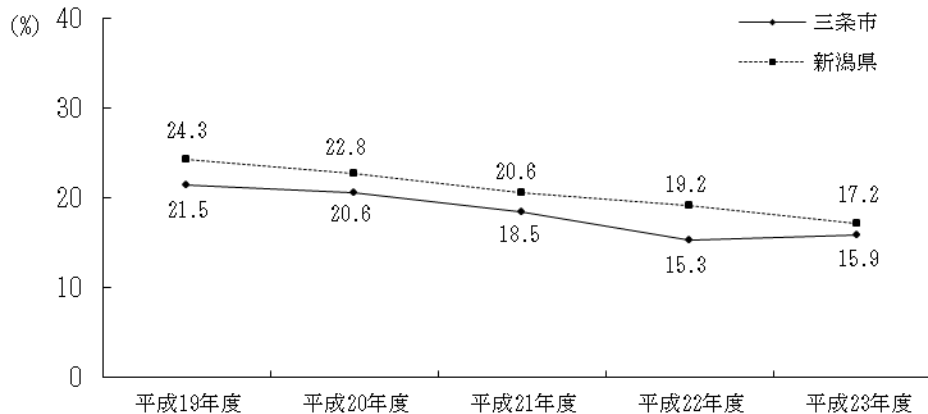


図2 3歳児むし歯有病者率 資料:H23年歯科疾患実態調査 新潟県

表1 幼児歯科健診状況

	1歳6か月児 歯科健診	2歳児 歯科健診	2歳6か月児 歯科健診	3歳児 歯科健診
歯科健診対象者(人)	794	809	805	811
歯科健診受診者(人)	790	760	726	782
受診率(%)	99.5	93.9	90.2	96.4
フッ化物歯面塗布実施者(人)	777	749	716	755
フッ化物歯面塗布実施率(%)	98.4	98.6	98.6	96.5
歯みがき指導参加者(人)	790	760	726	782
歯みがき指導参加率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0

資料:H23年度保健衛生の動向 三条市

4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

②乳幼児

－健康状況－

- ・ 1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児に重症う歯（最もむし歯になりにくい下の前歯にむし歯がある状態）がみられ、1歳6か月児、3歳児の重症う歯の割合は県平均を上回っている。
- ・ 不正咬合（反対咬合、指しゃぶりによる開咬等）の児がみられ、2歳児、2歳6か月児、3歳児は県平均を上回っている。

不正咬合とは

⇒ 歯並びや噛み合わせが良くない状態の総称です。
反対咬合は上の歯よりも下の歯が前に出た状態、開咬は噛みしめても前歯に隙間がある状態です。不正咬合の主な原因は、遺伝、むし歯などの歯科疾患、指しゃぶりや口呼吸などの生活習慣です。幼児期からの生活習慣が不正咬合の予防につながります。

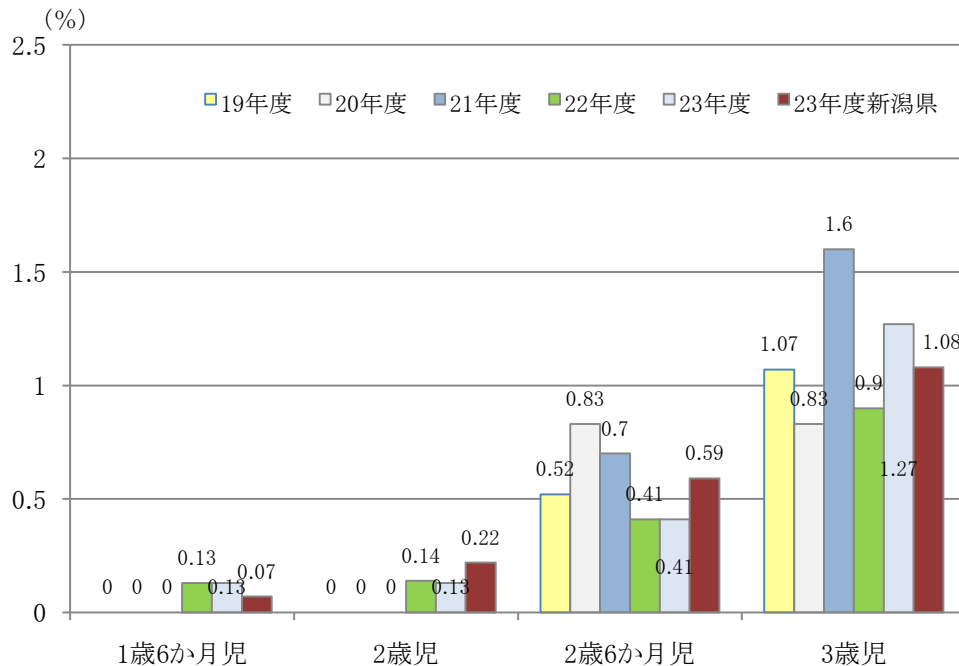


図4 幼児歯科健診における重症う歯の割合

資料: 幼児歯科健診結果 三条市

☆お口の健康ひとくちメモ☆

「仕上げ磨きはいつまで続けるの？」

むし歯予防のためには、正しい歯磨きで歯の表面から歯垢を取り除くことが大切です。

乳歯が生えたら仕上げ磨きをスタートしましょう。

「小学生になったら仕上げ磨きは終わり」と思っていないですか？
最初の永久歯の第1大臼歯は6歳頃に生えてきます。この頃は乳歯と永久歯が混在し、お子さんだけではうまく磨けません。

仕上げ磨きや磨き残しのチェックは小学校中学年くらいまで続けましょう。

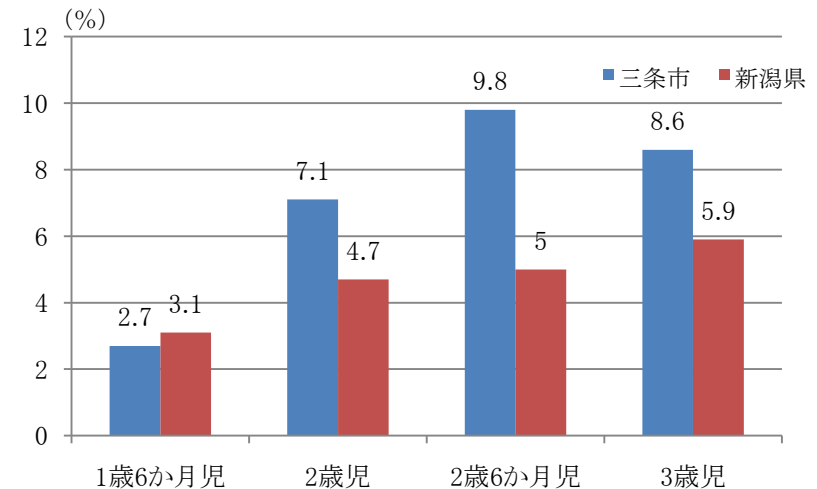


図5 幼児歯科健診における不正咬合（咬合異常）の割合

資料: H23年歯科疾患実態調査 新潟県

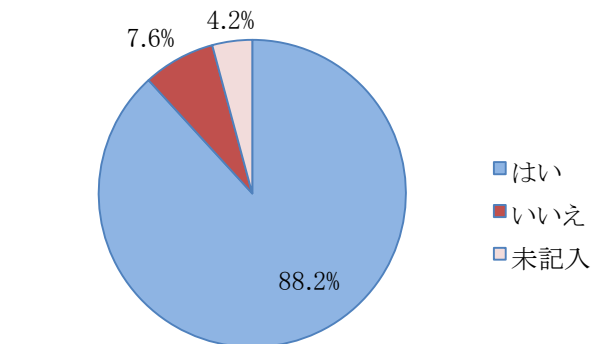
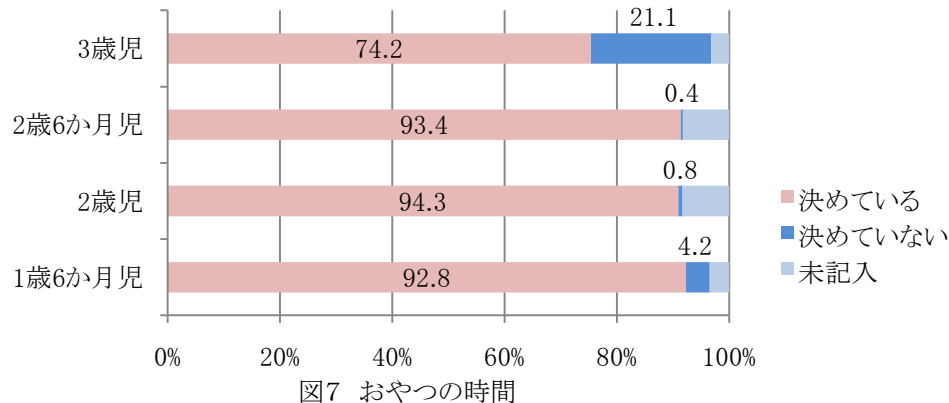
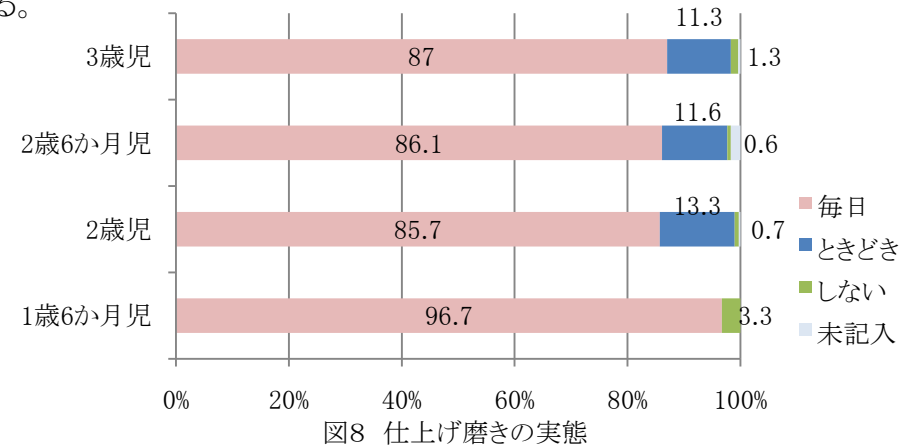
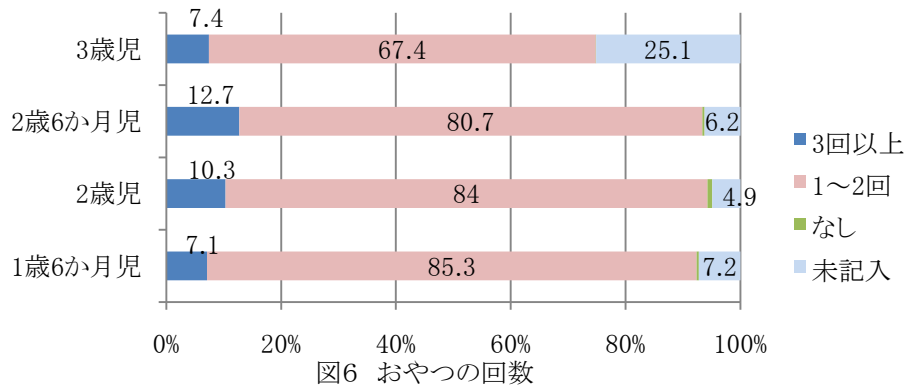
4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

②乳幼児

－生活状況－

- ・間食(おやつ)の回数が1日3回以上の児は、1歳6か月児7.1%、2歳児10.3%、2歳6か月児12.7%、3歳児7.4%である。
- ・間食の時間を決めていない児は、1歳6か月児4.2%、2歳児0.8%、2歳6か月児0.4%、3歳児21.1%であり、3歳児で急増する。
- ・仕上げ磨きをしている児は、1歳6か月児96.7%、2歳児85.7%、2歳6か月児86.1%、3歳児87.0%である。
(※1歳6か月児は毎日・ときどき実施の合計、2歳児、2歳6か月児、3歳児は毎日実施の割合)
- ・噛みごたえのある食べ物を食べている児は、2歳児で88.2%である。



4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

②乳幼児

<アンケート結果> 【市内保育所(園)、幼稚園 5歳児の保護者】

- ・仕上げ磨きの頻度では、「毎日仕上げ磨きをする」と回答した人は54.9%であった。
「正しい仕上げ磨きの仕方を知っている」と回答した人は49.9%、「習ったことがある」と回答した人は58.9%であった。
- ・「歯科医院に定期的に行く」と答えた人は33.2%であった。
- ・毎日の食事について、「好き嫌が多い」と回答した人は22.4%であった。
- ・「歯や口の中に関する悩み事がある」と回答した人は36.4%であった。
- ・仕上げ磨きについて習ったことがある人の82.9%は仕上げ磨きの仕方の知識があった。



保育所の歯磨き指導の様子



<グループインタビュー結果> 【すまいるランド育児サークル参加者の声】



- ・仕上げ磨きは母が毎日行っている。仕上げ磨きを嫌がる時期の子どもに対しても、工夫しながら行っている。
- ・子育てに忙しく、子どもに歯ブラシを持たせるので精一杯。親自身の歯の手入れまで気が回らない。
- ・歯科医院には、健診で指示されたら行く。フッ素塗布や定期健診のために歯科医院に行くことはあまりない。
- ・親にとって子どもの歯はすごく大事なもの
「むし歯が見つかるとう罪悪感がある」「きれいな歯は親からの贈り物」
- ・歯科保健に対する要望は、小学校入学までの定期的なフッ素塗布、健診だけで歯科医院に行っても良いことを伝えるなど歯科健診についての啓発、歯科医院の情報発信についてなどがある。



【現状】

- ・2歳6か月児、3歳児の重症う歯の割合が高い。
- ・毎日仕上げ磨きをしていない児がみられる。
- ・間食の回数、時間を決めていない児がみられる。
- ・不正咬合(歯並びや噛み合わせが良くない状態)が多い。
- ・歯科医院に定期的に行く人が少ない。
- ・歯科医院に関する情報が周知されていない。
- ・正しい仕上げ磨きの仕方を知っている人が少ない。



【問題点】

- ・重症う歯の幼児がみられる。
- ・仕上げ磨きをしていない。
- ・正しい仕上げ磨きの仕方を知らない。
- ・間食の時間、回数が決まらない。
- ・定期的に歯科医院に行かない。
- ・歯科医院に関する情報が周知されていない。
- ・不正咬合(歯並びや噛み合わせが良くない状態)が多い。



③小・中学生・高校生

4 現状と課題

(1)対象別にみた現状と問題点

－健康状況－

- ・12歳児一人平均むし歯数0.83本は県平均0.68本より多い。
- ・12歳児むし歯有病者率34.0%は県平均28.8%より多い。
- ・小・中学生のむし歯罹患率は、学年が上がるにつれて高くなる。
- ・小・中学生の一人平均むし歯本数は、学年が上がるにつれて高くなる。
- ・学校歯科健診のむし歯処置歯率は、小学生60.0%、中学生71.1%であり、県平均小学生67.9%、中学生75.9%より低い。
- ・学校歯科健診で歯肉の状態が要観察または要治療の学童は、小学生14.7%、中学生21.7%である。

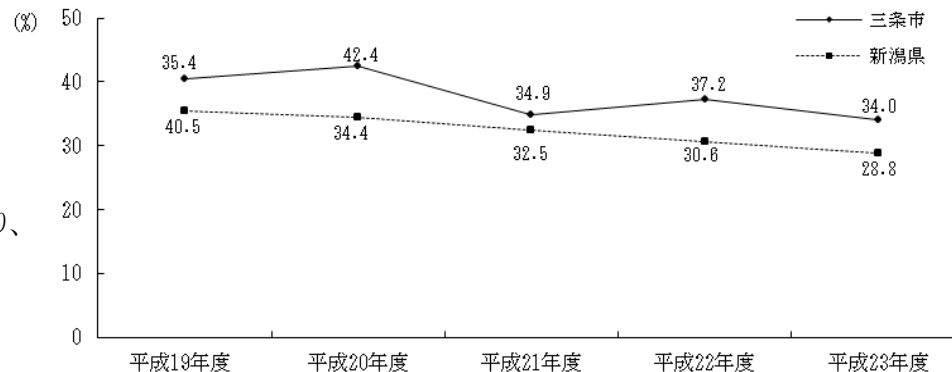


図10 12歳児むし歯有病者率

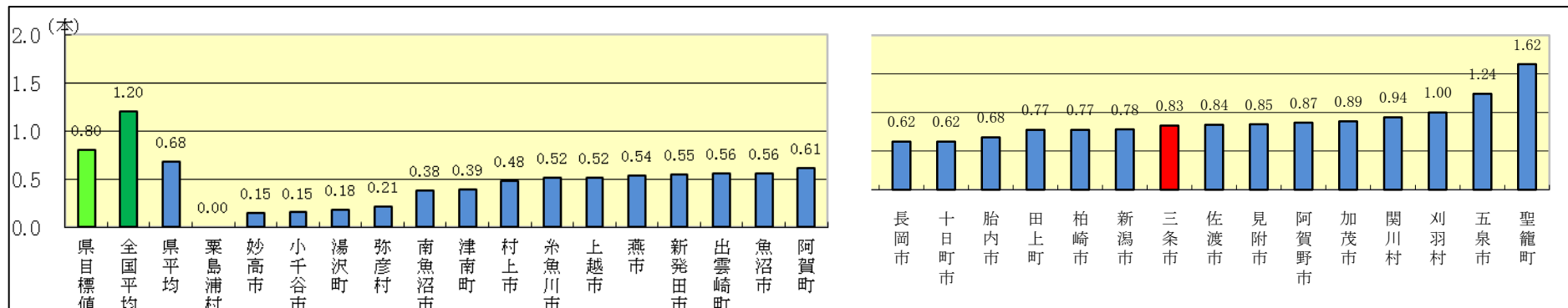


図11 平成23年 市町村別12歳児一人平均むし歯数(永久歯)の比較

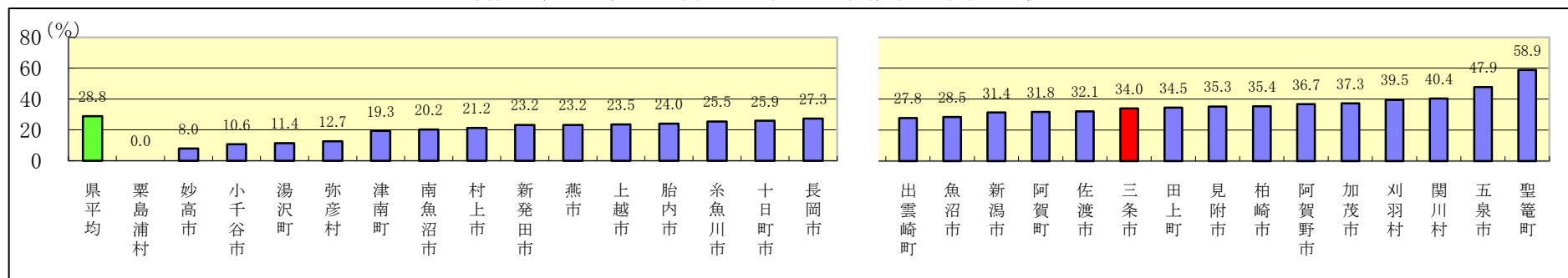


図12 平成23年 市町村別12歳児むし歯有病者率(永久歯)の比較

4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

③小・中学生・高校生

ー健康状況ー

- ・三条地域振興局管内17歳一人平均むし歯数1.96本は県平均1.94本より多い。
- ・三条地域振興局管内17歳むし歯有病者率50.5%は県平均50.5%と同じである。

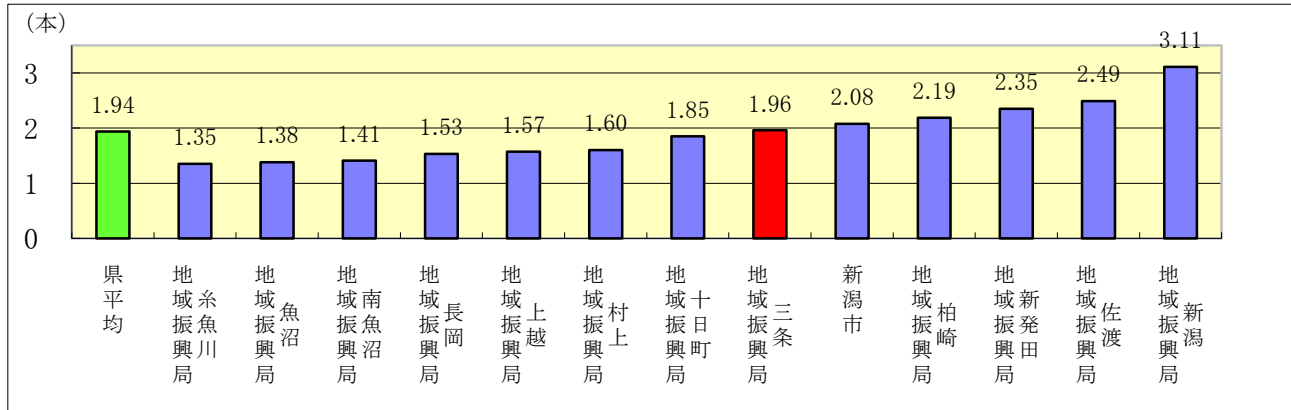


図13 平成23年 地域機関管内別 17歳一人平均むし歯数(永久歯)の比較

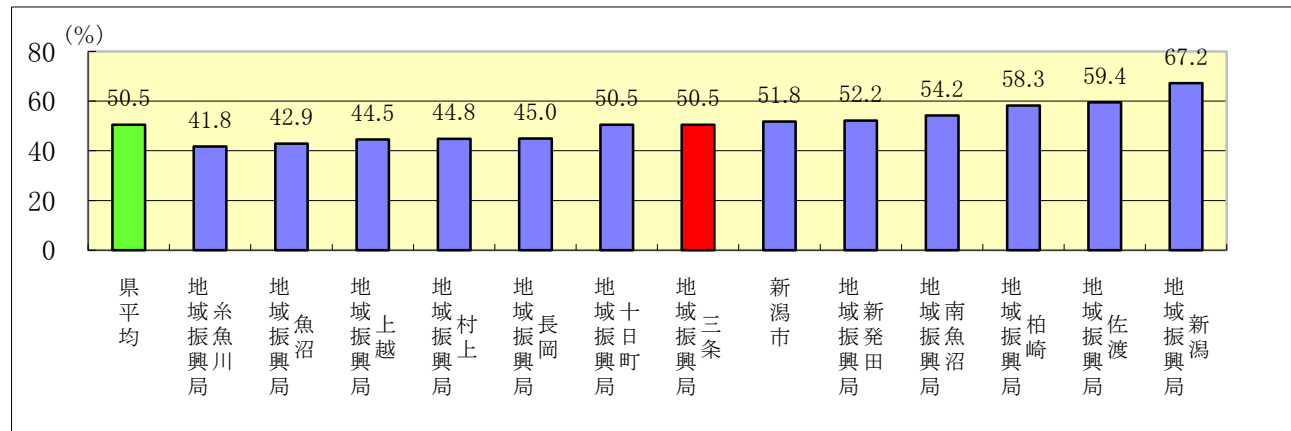


図14 平成23年 地域機関管内別 17歳むし歯有病者率(永久歯)の比較

資料:H23年歯科疾患実態調査 新潟県

☆お口の健康

ひとくちメモ☆

「口の中の健康状態は
全身に影響します!!」

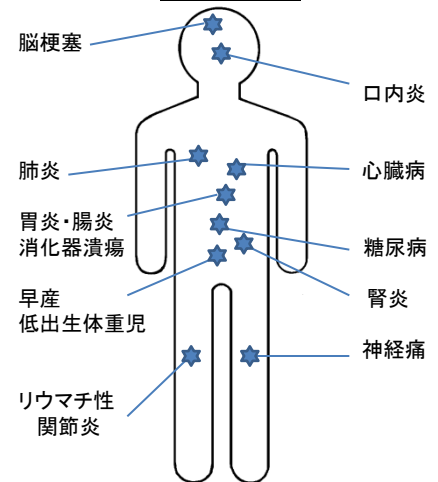


歯周病やむし歯になると、口の中に細菌が増えてきます。この状態をそのままにしておくと、ついには細菌が血管に入り全身に広がり、様々な病気を引き起こしたり、糖尿病や心疾患などの生活習慣病を悪化させたりします。

また、歯の痛みがある、歯がない状態などで、食べ物をよく噛まずに飲み込んでしまうと、胃腸に負担がかかり消化器系の病気を引き起こすことがあります。

歯周病などの病気を早めに治療し、口の中をきれいにしておくことは、全身の病気の予防にもつながります。

口の健康状態と関係する 全身の病気



4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

③小・中学生・高校生

<アンケート結果>

【小学生】 市内全校の小学3年生

- ・正しい歯磨きの仕方を「知っている」と回答した人は71.7%、「知らない」と回答した人は28.3%であった。
- ・正しい歯磨きの仕方を「習ったことがある」と回答した人は91.4%であった。
- ・歯科医院に行く場合については、「定期的」が36.9%と最も多く、次に多かったのは「健診や医師の指示があれば行く」が32.3%であった。
- ・歯周病については、「名前も内容も知っている」と回答した人は19.3%、「名前だけ知っている」と回答した人は51.7%であった。
- ・「意識してよく噛んでいる」と回答した人は30.1%、「意識していない」と回答した人は48.1%であった。
- ・正しい歯磨きの仕方を知っている人の方が補助清掃用具の使用率が高かった。



【中学生】 市内全校の中学2年生

- ・補助清掃用具等を「使っている」「ときどき使っている」と回答した人はそれぞれ3.5%、27.8%であった。
 - ・正しい歯磨きの仕方を「知っている」と回答した人は75.8%であった。
 - ・「意識してよく噛んでいる」と回答した人は27.7%、「意識していない」と回答した人は49.4%であった。
 - ・歯磨きの仕方について習ったことがある人の79.4%は正しい歯磨きの仕方について知っていた。
- また、正しい歯磨きの仕方を知っている人の方が補助清掃用具の使用率が高かった。

補助清掃用具とは

⇒デンタルフロス、糸付きようじ、歯間ブラシなど、歯ブラシ以外の口の中を清掃する用具のことです。
歯ブラシでは磨けない歯と歯の間の清掃に効果的です。



【高校生】 市内2校の高校3年生

- ・補助清掃用具等を「使っている」「ときどき使っている」と回答した人はそれぞれ1.7%、22.7%であり、「使っていない」と回答した人は75.6%であった。
- ・歯周病については、「名前も内容も知っている」と回答した人は32.0%、「名前だけ知っている」と回答した人は62.1%であった。
- ・「意識してよく噛んでいる」と回答した人は20.6%、「意識していない」と回答した人は62.4%であった。
- ・歯磨きの仕方について習ったことがある人の72.2%が正しい歯磨きの仕方について知っていた。しかし一方では、習ったことがある人のうち27.7%が正しい歯磨きについて知らなかった。

【現状】

- ・12歳児の一人平均むし歯数が多く、むし歯有病者率が高い。
- ・小学生、中学生のむし歯処置歯率が低い。
- ・中学生になると歯周病が急増する。
- ・17歳のむし歯数が多い。
- ・補助清掃用具を使っている人が少ない。
- ・正しい歯磨きの仕方を知らない人がいる。
- ・意識してよく噛んでいる人が少ない。



【問題点】

- ・むし歯が多い。
- ・歯周病が多い。
- ・むし歯処置歯率が低い。
- ・補助清掃用具を使っていない。
- ・正しい歯磨き方法を知らない。
- ・意識してよく噛む習慣がない。



④成人

4 現状と課題

(1)対象別にみた現状と問題点

－健康状況－

- ・歯周疾患検診受診率は3.3%である。
- ・歯周疾患検診受診者の89.8%が要精検・要治療である。
- ・咀嚼能力判定試験(判定ガム使用)では、実施者229人中、15人(6.6%)が噛む力が弱いと判定された。

咀嚼(そしゃく)能力判定試験とは

⇒ 噛む力を調べるために行います。
試験用のガムを2分間噛んだ後、
5段階のカラーチャートで色を比較
し評価します。

表2 歯周疾患検診の状況

	対象者数	受診者数	受診率	判定区分						要精検・要治療の内容(延数)				
				異常なし		要指導		要精検・ 要治療		歯石除去	歯周治 療	う蝕治療	補綴処置	その他
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)					
19年度	5,933	483	8.1	54	11.2	35	7.2	394	81.6	167	238	198	34	29
20年度	5,753	491	8.5	50	10.2	27	5.5	414	84.3	176	254	204	38	37
21年度	5,731	330	5.8	30	9.1	25	7.6	275	83.3	126	167	134	13	39
22年度	5,669	157	2.8	9	5.7	5	3.2	143	91.1	67	81	63	6	15
23年度	5,679	187	3.3	9	4.8	10	5.4	168	89.8	74	92	87	8	13

歯周疾患検診とは

⇒ むし歯や歯周疾患による歯の喪失を予防し、歯と口の健康を守るため、本市では、40・50・60・70歳の方を対象に市内指定歯科医院で検診を実施しています。

資料: H23年度保健衛生の動向 三条市



<アンケート結果> 【20～80歳代の市民】

- ・補助清掃用具を「使っている」と回答した人は年代が上がるにつれて増加傾向にある。「使っていない」と回答した人は各年代とも3～4割であった。
- ・歯科医院に行く場合は、「症状があれば行く」が最も多く、各年代を平均すると約4割であった。20～30歳代では「健診や医師の指示があれば行く」と回答した人が5～10%みられたが、その上の年代ではほとんどみられなかった。「定期的に行く」「気になるころがあれば早めに行く」と回答した人は年代ごとにばらつきはあるものの、全体ではそれぞれ25.6%、24.8%であり、あわせると全体の半数であった。
- ・永久歯の平均本数は、60歳で25本、80歳で17本であり、60歳代を超えた年代から永久歯の減少が顕著である。
- ・市の歯周疾患検診を「知っている」と回答した人は全体の1割強であった。40歳代以上の年代では割合が増している。
- ・歯や口の中に関する悩み事では、「硬いものが噛みにくい」と回答した人が年代が上がるが増えており、年齢が上がるいろいろな困りごとが増える傾向にあった。
- ・正しい歯磨きの仕方を「知っている」人、正しい歯磨きの仕方を「習ったことがある」人が補助清掃用具の使用率が高かった。しかし、補助清掃用具を「毎日使っている」人は全体の3割程度であり、「時々使っている」とあわせても6割程度であった。また、歯周病について知っている人は、歯周病について気にし、たばこと歯周病の関連も理解していることがわかった。

<グループインタビュー結果>



【生活習慣病予防教室参加者】

- ・歯や口の中の健康について、「歯は全身に影響がある」と感じている。
- ・歯科医院には定期受診する人と症状がないと受診しない人に分かれ、仕事が忙しい働き盛りの人は、近くて通いやすいところ、昼休みや夕方時間帯を選んで受診している。
- ・歯科医院に対しては、曜日や時間帯等の受診しやすさや費用について等の要望がある。

【健康推進員】

- ・歯間ブラシやデンタルフロス等の補助清掃用具を使っている人が多く、歯磨き剤は目的別に選んでいる。
- ・歯や口の中の困りごとでは、口臭・口渇等、口の中の自覚症状や、食べ物が歯に挟まる、よく噛めない等、食生活に関する悩みが多い。
- ・歯は美しさを保つために必要と感じており、歯の色や歯並びを気にしている。
- ・歯や口の中の健康に対するイメージは、「歯や口の健康が全身に影響を及ぼし健康長寿につながる」「自分の歯で食事が出来ることは幸せ」等。食べる、噛む、話す等、口の中の機能が保てることは幸福感につながっている。
- ・歯や口の中の健康は、むし歯や歯周疾患などの病気の予防だけではなく、生きる幸せと強く関係している。
- ・歯や口の中の健康を保つために出来ることは、歯科医院の定期・早期受診と正しい歯磨き習慣、硬い物を噛む、甘い物を控える等の良い食習慣がある。
- ・歯科保健に対する要望は、歯科検診や歯科保健指導の充実、歯科保健に関する情報提供などがある。

☆お口の健康

ひとくちメモ☆

「歯医者さんに聞きました！私がすすめる歯磨き剤の使い方」



むし歯予防に関して言えば、歯磨き剤は使わなくてもかまいません。歯磨き剤を使うと爽快感があるので、きちんと磨けているかわからなくなります。磨いた後に舌で触ってツルツルになったか確認すると良いでしょう。

フッ素入り歯磨き剤は、うがいを何回もしてはいけません。使う意味がなくなってしまいます。

歯の着色をとる目的では歯磨き剤が必要です。最近では、栄養補給できる歯磨き剤も出ています。

歯磨き剤は上手に使いましょう。

【現状】

- ・歯周疾患検診の受診率が低い。
- ・歯周疾患検診受診者のほとんどが要精密検査・要治療である。
- ・補助清掃用具を使っている人が少ない。
- ・歯科医院に定期的に行く人は少なく、症状があると行く人が多い。
- ・歯周疾患検診を知らない人が多い。
- ・60歳を過ぎると歯の本数が減る。
- ・口臭、食べ物が歯に挟まる、硬いものが噛みにくいなどの困りごとがある。
- ・歯の美しさに関心がある。
- ・歯磨き剤は目的別に選んでいる。
- ・食べる、噛む、話す等の機能は生きる幸せにつながっている。



【問題点】

- ・歯周疾患が多い。
- ・喪失歯がある。
- ・歯と口の中の困りごとが増える。
- ・補助清掃用具を使っていない。
- ・歯周疾患検診を知らない。受診しない。
- ・意識してよく噛む習慣がない。
- ・歯の美しさが気になる。



⑤高齢者

ー統計データー

- ・介護予防事業 栄養口腔講座は、20回延307人が参加している。
- ・二次予防高齢者施策 口腔機能向上教室は、4回37人が参加している。
- ・二次予防対象者把握事業 口腔機能向上事業対象者は、集団健診160人5.1%、施設健診154人8.8%である。

＜高齢者ニーズ調査結果＞

- ・定期的に歯の健診を受けている人の割合は、一般高齢者37.0%、軽度認定者（要介護認定が要支援1・2、要介護1・2の人）16.7%である。
- ・毎日歯磨きしている人の割合は、一般高齢者86.8%、軽度認定者67.6%である。
- ・入れ歯の手入れをしている人の割合は、一般高齢者86.8%、軽度認定者75.9%である。

＜グループインタビュー結果＞【健康体操サークル参加者】

- ・「歯が一番大事である」「おいしく食べることが張り合い」
「歯がないと食べられない、生きていけない、面白くない」
- ・歯と口の中の健康が食べること、生きがいにつながっている。
- ・歯や口の中のことで困りごとがないと答えている人が多く、自覚症状がほとんどない。
- ・歯科医院には大変満足している。「訴えをよく聞いてくれる」「不安なことに対し丁寧に説明してくれる」「困った時に対応してくれる」



【現状】

- ・定期的に歯科健診を受けている人、受診している人が少ない。
- ・80歳代の歯の本数は平均17本である。
- ・毎日歯磨きや入れ歯の手入れをしていない人がいる。
- ・歯が一番大事。歯がないと食べられない、食べるのが張り合い、生きていけない、面白くないと思っている。
- ・年齢が上がると硬いものが噛みにくくて困っている人が増える。
- ・口の中の困りごと、自覚症状がないと答える人が多い。

【問題点】

- ・喪失歯がある。
- ・定期健診や受診をしていない。
- ・歯磨きや入れ歯の手入れをしない。
- ・補助清掃用具を使っていない。
- ・硬いものが噛めなくなる。
- ・自覚症状がない。



☆お口の健康

ひとくちメモ☆

「きちんと入れ歯を使っていますか？」



入れ歯を正しく使っていますか。
高齢者の中には、歯茎だけで食べていてせっかく作った入れ歯が使えなくなった方や、部分入れ歯を使わないために他の歯の状態が悪くなった方がいます。

入れ歯は使わなければ合いません。最初は違和感があっても、歯科医師の指示どおりに正しく使い続けることがとても大切です。

国は80歳で20本以上の歯を保つ「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進しています。歯が20本あると、硬い物でも噛んで食べられることが明らかになっています。

失った歯は入れ歯で補い、何でもよく噛んでおいしい食事を楽しみましょう。



⑥要介護者

4 現状と課題

(1) 対象別にみた現状と問題点

ー統計データー

- ・高齢者ニーズ調査では、口腔機能リスク該当者は、一般高齢介護者21.3%、軽度認定者（要介護認定が要支援1・2、要介護1・2の人）47.4%であり、軽度認定者が2倍である。
- ・県在宅要介護者等歯科保健推進事業利用者10人中8人が要介護認定3～5の人である。
- ・県在宅要介護者等歯科保健推進事業利用者10人の結果は、健全2人、要指導2人、要治療6人である。

<グループインタビュー結果> 【地域包括支援センター職員】

- ・「歯磨きはデイスサービスや入浴の時のみ」等、歯や入れ歯の手入れの習慣がないこと、本人はあまり困っていないことから、要介護状態の方は口の中の健康を気にしていない。
- ・診療科の中では歯科受診が後回しになっており、その背景には通院の交通手段の確保や介助の大変さ等がある。
- ・要介護状態の方には、歯科健診や歯と口の手入れが大事であり、要介護状態になる前からの働きかけが必要である。

介護施設の
歯と口の手入れの様子



☆お口の健康ひとくちメモ☆ 「歯がなくなっても口の中の 手入れは必要？」



食べ物を飲み込んだり、咳をする働きが弱くなると、唾液や胃液が気管に入り「誤嚥性（ごえんせい）肺炎」という病気を引き起こしやすくなります。誤嚥性肺炎は高齢者や要介護者に多く、命にかかわることもあります。予防のためには、口の中の手入れで細菌や食べかすを取り除くことが大切です。ご自分の歯がなくなった方も、粘膜や舌の汚れを取ることを習慣にしましょう。

【現状】

- ・歯や入れ歯の手入れの習慣がない。
- ・口の中の健康を気にしていない。
- ・診療科の中では歯科受診が後回しになっている。
- ・通院の交通手段がないと受診できない。
- ・県在宅要介護者等歯科保健推進事業利用者が非常に少ない。



【問題点】

- ・歯磨きや入れ歯の手入れをしない。
- ・歯や口の中の健康に関心が低い。
- ・歯科医院受診は後回しになる。
- ・交通手段がないと受診できない。



⑦障がい児・者

ー統計データー

- ・県在宅要介護者等歯科保健推進事業利用者10人中1人が療育手帳Aまたは身体障害者手帳1・2級所持者である。
- ・県在宅要介護者等歯科保健推進事業利用者10人の結果は、健全2人、要指導2人、要治療6人である。

<グループインタビュー結果>



【発達教室参加者】

- ・わが子をむし歯にさせたくないという思いはあっても、激しく嫌がるため歯磨きあるいは仕上げ磨きを行うのが大変な状況である。
- ・しっかり歯磨きが出来ないため、食後にお茶を飲ませる、お菓子、ジュース等のだらだら食い、飲みをさせない等、食生活に気をつけている。
- ・歯科医院受診では、治療の音や待ち時間が苦手、恐怖感から暴れたり、じっとしていられなかったり、親も子も受診が大変。通院回数が少ないと有難い。

【相談支援事業所職員】

- ・歯の手入れについては、障害特性が現れ、口が開けられず歯磨きが出来ない人、毎日の歯磨き習慣が身につけていない人がいる。
- ・障がいの種類や重度にかかわらず、歯や口の中の習慣は子どもの頃からの生活習慣が大きく関係している。
- ・歯や口の中で困っていることが出てきにくく、本人は困っていると感じず、家族はあきらめているようだ。
- ・歯科受診では、本人が嫌がり、親は診てもらえないと思い込んで受診しない人がいる。また、医療費助成を受けられない人等に、医療費を心配し健診を受けない人、歯科医院を受診しない人がいる。
- ・歯科保健の要望としては、車椅子対応可等、障がい児・者が受診できる医療機関の情報提供を希望している。

【現状】

- ・歯肉炎等で要指導、要治療の人が多い。
- ・歯磨きや仕上げ磨きを嫌がってできない。
- ・本人は歯と口に関して困っていることを訴えない。
- ・歯や口の中の問題に本人、家族、支援者が気づきにくい。
- ・訴えが少なく、歯や口のトラブル対応が遅れる。
- ・家族はあきらめて困っていることを訴えない場合がある。
- ・歯磨き等の習慣は子どもの頃からの生活習慣が関係している。
- ・医療費を気にして歯科医院を受診しない人がいる。
- ・診てもらえないと思い込み歯科医院を受診しない人がいる。
- ・車椅子対応可など、障がい者が通院可能な歯科医院を紹介してほしいと思っている。
- ・県在宅要介護者等歯科保健推進事業利用者が非常に少ない。

【問題点】

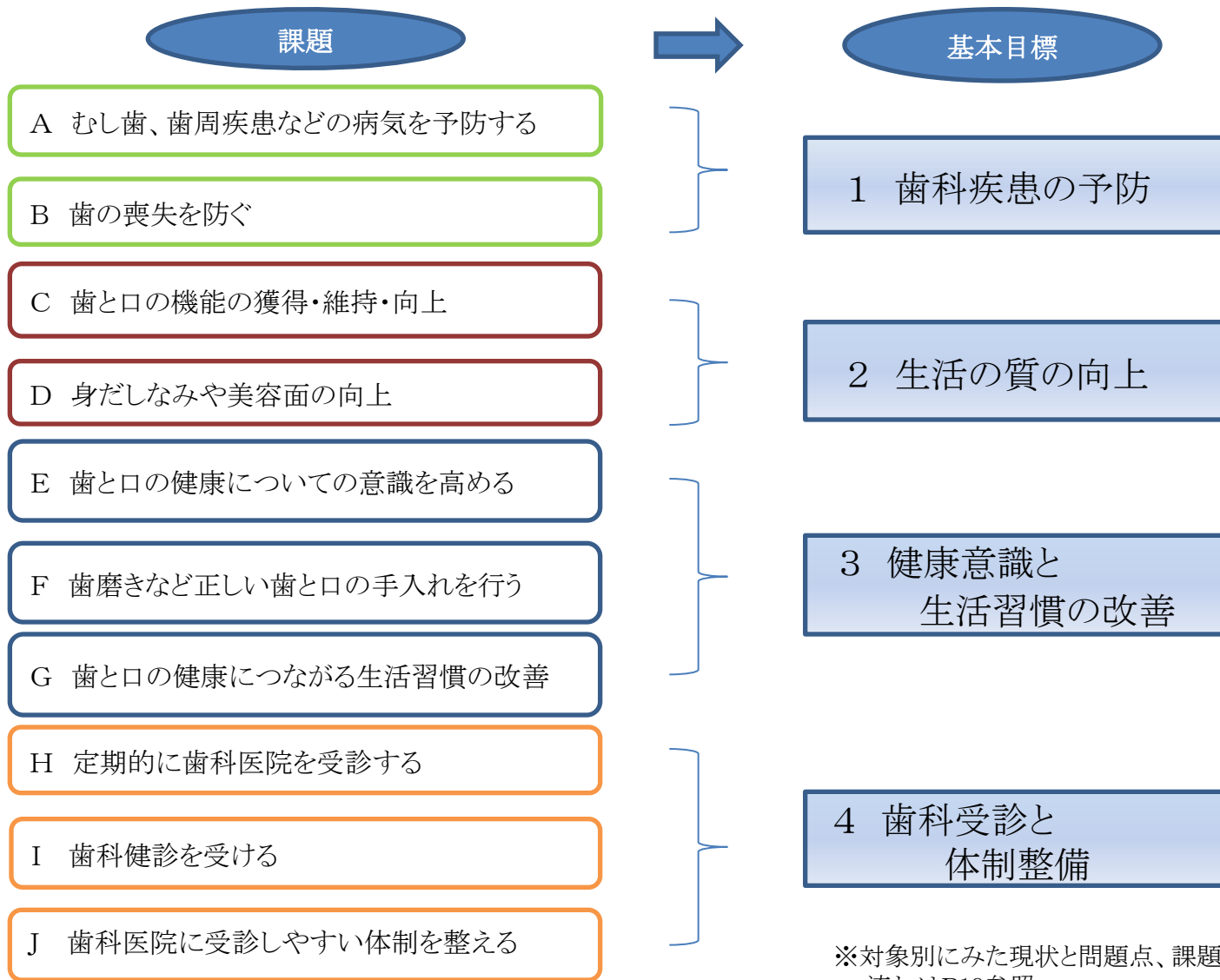
- ・歯肉炎が多い。
- ・歯や口の中の健康に関心を持ちにくい。
- ・訴えが少なく、トラブル対応が遅れる。
- ・歯磨きをしない人がいる。
- ・歯科受診をしない。



(2) 課題

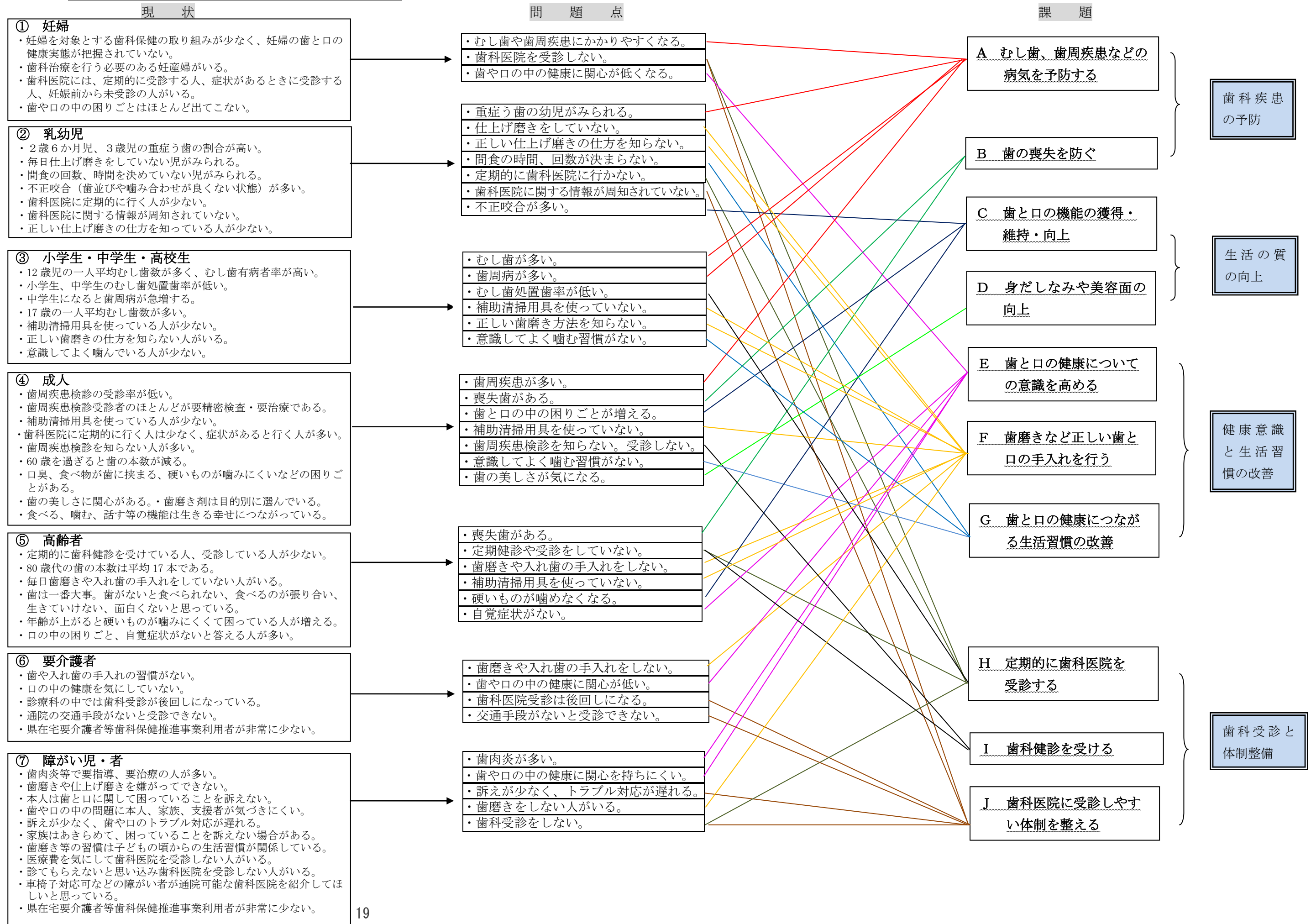
4 現状と課題

対象別に現状と問題点を整理・分析していくと、そこに共通する課題が見えてくることから、課題については対象の枠を越え、次のとおり整理した。更に、A から J までの課題を集約し、4つの基本目標を設定した。



※対象別にみた現状と問題点、課題整理までの流れはP19参照

別紙 対象別にみた「現状」・「問題点」及び「課題」



5 取り組み

(1) 具体的な取り組み

【自助・互助】【共助】【公助】の「事業・取り組み」と「基本目標」及び「施策の展開」との関係性についてまとめた。

基本目標		1 歯科疾患の予防			2 生活の質の向上		3 健康意識と生活習慣の改善			4 歯科受診と体制整備	
事業・取り組み	施策の展開	①むし歯予防	②歯周疾患予防	③歯の喪失の防止	①健全な歯と口の機能獲得・維持・向上	②身だしなみや美容面の向上	①歯と口の健康意識を高める	②正しい歯と口の手入れ	③生活習慣の改善	①定期的な歯科健診・歯科医院受診	②受診しやすい体制整備
【自助・互助】 個人・家庭等	・歯が全身の健康に影響があることを理解する。						○				
	・定期的に歯科健診・歯科保健指導を受ける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・かかりつけ歯科医院を持つ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・健診結果が要精検・要治療の場合、すみやかに歯科医療機関を受診する。	○	○	○	○		○		○	○	
	・症状がある場合には、すみやかに歯科医療機関を受診し、治療を完了する。	○	○	○	○		○		○	○	
	・妊娠中に歯科健診・歯科保健指導を受ける。	○	○		○		○	○	○	○	
	・よく噛んで食べる習慣を持つ。	○	○	○	○		○		○		
	・1歳6か月児までに仕上げ磨きの習慣をつける。	○			○		○	○	○		
	・3歳児で仕上げ磨きが定着する。	○			○		○	○	○		
	・5～6歳児で自分で歯を磨く習慣をつける。	○			○		○	○	○		
	・小学校6年生(12歳児)までに正しい歯磨きの知識と方法を身につける。	○			○		○	○	○		
	・正しい歯磨きと歯科補助清掃用具の使用方法を身につける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・たばこを吸わない、または禁煙する。		○	○	○	○	○		○		
	・必要な時期に入れ歯を使い始める。				○	○	○	○			
【共助】 関係機関・団体	・歯の衛生週間事業(歯科医師会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・歯科フォーラム(歯科医師会)	○	○	○	○		○	○	○	○	
	・歯科医師による審美歯科相談(歯科医療機関)				○	○	○			○	
	・誤嚥性肺炎予防のための口の中のケア実施(介護施設等)			○	○	○	○	○	○		
	・地区組織による啓発(健康推進員協議会、食生活改善推進委員協議会等)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	・歯磨きが出来ている人等、様々な表彰(歯科医師会)						○	○	○		
	・歯科医療機関の情報提供									○	○

5 取り組み
(1) 具体的な取り組み

基本目標		1 歯科疾患の予防			2 生活の質の向上		3 健康意識と生活習慣の改善			4 歯科受診と体制整備	
事業・取り組み	施策の展開	①むし歯予防	②歯周疾患予防	③歯の喪失の防止	①健全な歯と口の機能獲得・維持・向上	②身だしなみや美容面の向上	①歯と口の健康意識を高める	②正しい歯と口の手入れ	③生活習慣の改善	①定期的な歯科健診・歯科医院受診	②受診しやすい体制整備
共通	・【新】歯科医療機関の情報提供									○	○
	・【拡】歯科口腔保健に関する健康教育、啓発（地域のサークル等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・広報さんじょう等による歯科保健情報の提供									○	○
	・市ホームページで医療情報ネットのリンク									○	○
	・禁煙教育		○		○		○		○		
妊婦	・歯磨きが出来ている人等、様々な表彰						○	○	○		
	・【新】妊婦歯科健診と歯科講話	○	○		○		○	○	○	○	
	・【新】産婦人科医療機関との連携による歯科口腔保健の啓発	○	○		○		○			○	
	・【新】産婦人科医療機関との連携による歯科医療機関の情報提供						○			○	○
乳幼児	・マタニティ教室における歯科保健指導、啓発	○	○		○		○				
	・1歳6か月児歯科健診 フッ化物歯面塗布	○		○	○		○	○	○	○	
	・2歳児歯科健診 フッ化物歯面塗布	○		○	○		○	○	○	○	
	・2歳6か月児歯科健診 フッ化物歯面塗布	○		○	○		○	○	○	○	
	・3歳児歯科健診 フッ化物歯面塗布	○		○	○		○	○	○	○	
	・学童期まで継続したフッ化物洗口の実施に向けた検討	○		○	○		○				
	・幼児期からの生活習慣病予防事業	○		○	○		○	○	○	○	
	・保育所歯科健診	○		○	○		○	○	○	○	
	・保育所歯磨き教室	○			○		○	○	○		
小・中学校	・保育所における歯科口腔保健の健康教育（よく噛んで食べる栄養指導、お口の体操、保育参観における歯科講話）	○			○		○	○	○		
	・【拡】フッ化物洗口の学校への拡大	○		○	○		○				
	・学校歯磨き教室（全小・中学校で実施）	○	○		○		○	○	○		
	・学校歯科健診（全小・中学校で実施）	○	○	○	○		○	○	○	○	

【新】…計画期間内の新規事業 【拡】…計画期間内の拡大事業

基本目標		1 歯科疾患の予防			2 生活の質の向上		3 健康意識と生活習慣の改善			4 歯科受診と体制整備	
施策の展開 事業・取り組み 【公助】 行政		①むし歯予防	②歯周疾患予防	③歯の喪失の防止	①健全な歯と口の機能獲得・維持・向上	②身だしなみや美容面の向上	①歯と口の健康意識を高める	②正しい歯と口の手入れ	③生活習慣の改善	①定期的な歯科健診・歯科医院受診	②受診しやすい体制整備
成人	・【拡】成人歯周疾患検診	○	○	○	○		○		○	○	○
	・【拡】成人の歯科口腔保健に関する健康教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・【新】身だしなみや美容面からの歯科保健の啓発					○	○	○	○		
	・【新】おしゃれに着目した歯の手入れグッズ等の普及					○	○	○	○		
	・咀嚼能力判定試験				○		○		○		
	・歯科補助清掃用具の使用指導、啓発	○	○	○	○	○	○	○	○		
	・入れ歯の使い方や手入れの指導、啓発	○	○	○	○		○	○	○		
	・禁煙講座		○		○		○		○		
高齢者	・生活習慣病予防事業(教室等)		○	○	○		○		○		
	・【拡】二次介護予防事業 口腔機能向上事業(かむかむ教室)の拡大				○		○	○	○		
	・【拡】一次介護予防事業 栄養・口腔講座(さんちゃん健康体操サークル、老人会等への出前講座)の拡大				○		○	○	○		
	・入れ歯の使い方や手入れの指導、啓発	○	○	○	○		○	○	○		
要介護者	・咀嚼能力判定試験				○		○		○	○	
	・【拡】訪問歯科診療の情報提供(ケアマネジャーとの連携)									○	○
	・県在宅要介護者等歯科保健推進事業の周知									○	○
障がい児・者	・介護保険サービス(居宅療養管理指導、通所サービス等における口腔機能向上サービス)		○	○	○		○	○	○	○	○
	・【拡】訪問歯科診療の情報提供(相談支援事業者との連携)									○	○
	・歯と口の手入れ、歯科補助清掃用具の使用指導	○	○	○	○	○	○	○	○		
	・県在宅要介護者等歯科保健推進事業の周知									○	○
障がい児・者	・県障がい児(者)歯科保健推進事業の周知	○	○	○	○		○	○	○	○	○

【新】…計画期間内の新規事業 【拡】…計画期間内の拡大事業

(2) 目標

- ★ ☆:国の目標⇒健康増進法に基づく、「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」に記載されている目標
及び歯科口腔保健の推進に関する法律に基づく、「基本的事項」に記載されている目標
- * :現 状 値⇒直近であるH23年度の値であり、それ以外の年度の値を用いる場合は()内に該当の年度を記載した。

基本目標	施策の展開	目標項目 (★:国の目標と同様 ☆:国の目標と類似 ○:市独自の目標)	現状値 (H23年度)*	目標値 (H29年度)	対象区分						
					①妊婦	②乳幼児	③小中学生 ・高校生	④成人	⑤高齢者	⑥要介護者	⑦障がい児 者
1 歯科疾患の予防	①むし歯予防 ②歯周疾患予防 ③歯の喪失の 防止	歯科健診を受ける妊婦の増加	○	—	35%	○					
		3歳児でう蝕のない者の増加	★	84.1%	90.0%		○				
		フッ化物歯面塗布を受けたことのある3歳児の増加	○	96.5%	96.8%		○				
		3歳児歯科健診受診率の増加	○	96.4%	100%		○				
		3歳児一人平均むし歯数の減少	○	0.6本	0.5本		○				
		5歳児一人平均むし歯数の減少	○	1.92本	1.8本		○				
		12歳児でう蝕のない者の増加	★	66.0%	70%		○				
		小学生のむし歯処置歯率の増加	○	60.0%	70%		○				
		中学生のむし歯処置歯率の増加	○	71.1%	75%		○				
		歯科健診で歯肉の状態が要観察または要治療の小学生の割合の減少	☆	14.7%	10%		○				
		歯科健診で歯肉の状態が要観察または要治療の中学生の割合の減少	☆	21.7%	15%		○				
		歯周疾患検診における要精検・要治療者の減少	○	94.3%	90%			○			
		歯周疾患検診受診者の増加	○	3.3%	10%			○			
		40歳の未処置歯のある者の減少	★	46.8%	40%			○			
		40歳で喪失歯のない者の増加	★	88.7%	95%			○			
		60歳で24本以上の自分の歯がある者の増加	★	78.9%	85%				○		

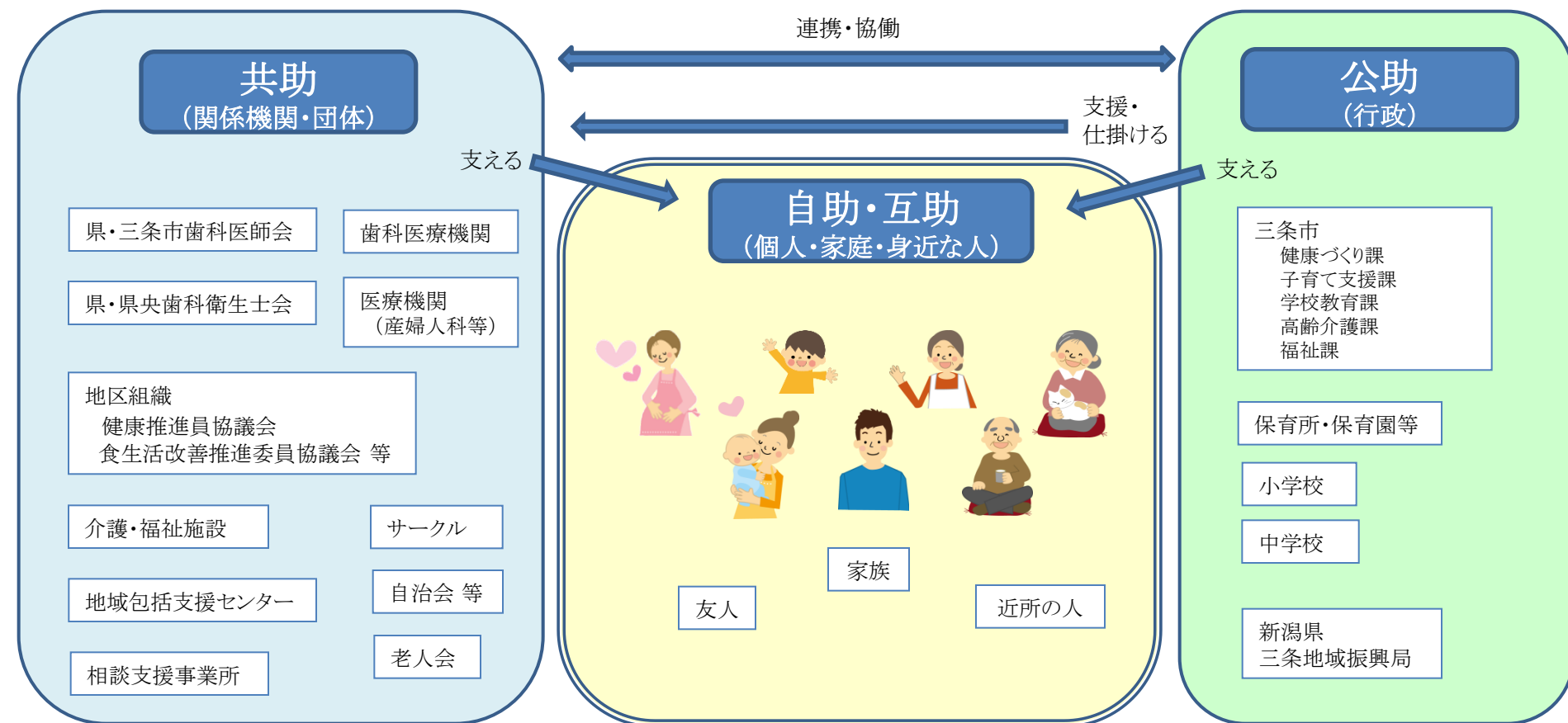
基本目標	施策の展開	目標項目 (★:国の目標と同様 ☆:国の目標と類似 ○:市独自の目標)	現状値 (H23年度)*	目標値 (H29年度)	対象区分						
					①妊婦	②乳幼児	③小・中学生・高校生	④成人	⑤高齢者	⑥要介護者	⑦障がい児者
2 生活の質の向上		3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	★	8.6%		○					
	①健全な歯と口の機能獲得・維持・向上 ②身だしなみや美容の向上	噛みごたえのあるものを食べている2歳児の増加	○	88.2%		○					
3 健康意識と生活習慣の改善		2歳児で毎日の仕上げ磨きの実施率の増加	○	85.7%		○					
	①歯と口の健康意識を高める ②正しい歯と口の手入れ ③生活習慣の改善	1歳6か月児で間食が1日3回以上の者の減少	○	7.1%		○					
4 歯科受診と体制整備		かかりつけ歯科医を持つ者の増加	○	72.8% (H22年度)				○	○		
	①定期的歯科健診・歯科医院受診 ②受診しやすい体制整備	にいがた医療情報ネットに「車椅子利用可能」を表示する歯科医療機関の増加	○	21施設						○	○
		にいがた医療情報ネットに「視覚障がい者・聴覚障がい者への配慮あり」を表示する歯科医療機関の増加	○	7施設							○
		県在宅要介護者等歯科保健推進事業を利用する要介護者の増加	○	8人						○	
		県在宅要介護者等歯科保健推進事業を利用する障がい者の増加	○	1人							○

※ 三条市第2次健康増進計画「健康さんじょう21」のターゲットのうち、「3 歯・口腔の健康」について本計画で目標項目を示し、進捗管理を行っていく。

(3) 計画の推進体制

本市では、市民の健康づくりに係る施策を総合的かつ効果的に推進するため、三条市健康づくり推進協議会を設置している。今後、計画の進捗管理と推進について、三条市健康づくり推進協議会において検討・協議を行う。

市民の健康づくりは、自助、互助、共助、公助のしくみにより推進していく。歯と口の中の健康づくりについて、一人一人の実践を、市民によるボランティア組織も含む関係機関・団体や行政が密に連携しながら支える体制とする。





資料編



調査資料

グループインタビューの概要

アンケートの概要



三条市健康づくり推進協議会開催状況



三条市歯科保健関係者会議開催状況



三条市歯科保健計画策定事務局連携会議開催状況



三条市健康づくり推進協議会委員名簿



三条市歯科保健関係者会議委員名簿

＜グループインタビューの概要＞



【実施方法】各世代や属性別の特定グループに対し、座談会形式で歯科口腔保健に関する質問をし、インタビューを行った。

区分	対象者	日時・会場	参加人数
妊婦	エンジョイパパママ教室参加の妊婦	4/14 9:20～ 総合福祉センター	4 人
乳幼児	すまいるランドママサークルハロハロ参加者	2/7 10:00～ すまいるランド	4 人
成人	生活習慣病予防教室参加者	2/17 9:15～ 体育文化センター	8 人
高齢者	つかのめさんちゃん健康体操サークル参加者	2/17 14:30～ 塚野目集会場	12 人
要介護者	地域包括支援センター職員	2/21 16:00～ 市役所第二庁舎第二集会室	5 人
障がい児	発達教室参加児の保護者	2/22 11:00～ 三条小学校	5 人
障がい者	相談支援事業所職員	2/2 11:00～ 市役所ミーティングルームB	4 人
地区組織	健康推進員 第2回地区別研修会参加者	12月～1月 22会場	167 人
合計		29 回	209 人



ママになる私もお腹の赤ちゃんもむし歯や歯周病になりたくない！

- ・妊娠中から食事やむし歯、歯周病に気をつけて赤ちゃんを守りたい。
- ・これから生まれてくる子どもの歯をむし歯から守りたい。
- ・歯はすごく大事だと思う。
- ・妊娠、出産すると歯が悪くなりそうなので、妊娠前よりも注意が必要。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯磨きをしっかり行う

- ・1日3回、毎食後に行っている。
- ・歯磨きは大切だと思うので、つわりがあっても何とか行っていた。
- ・職場にも歯磨き用具を持っていき、歯磨きを習慣としている。
- ・歯科医院で勧められたため、歯間ブラシを使用している。
- ・舌ブラシを使用している。

定期的に歯科受診をする

- ・半年に1回定期的に定期的に歯科医院を受診している。
- ・かかりつけ医に受診している。

<特に取り組んでいない>

むし歯や歯周疾患の悪化につながるおそれがある。

- ・痛みなど症状がないと歯科医院を受診しない。
- ・妊娠前からしばらく歯科医院に行っていない。

今後自分・家族ができそうなこと
【自助・互助】

- ・症状がなくとも定期的に歯科医院を受診する。
- ・妊娠中、出産後はしばらく治療ができない場合があるため、妊娠前から歯科健診の受診や歯科受診をする。

他の人にお願いしたいこと
【共助・公助】

- ・今のところは特にない。

グループインタビュー

【乳幼児】すまいるランドママサークルハロハロ参加者 4 人

親として子どもの歯をむし歯から守りたい！

- ・「きれいな歯は親からの贈り物」親がきちんとケアをすれば、子どもたちにむし歯のないきれいな歯を与えられる。
- ・親にとって子どもの歯はすごく大切なもの
- ・子どもにむし歯が見つかるとう罪悪感がある。親の管理が悪いと思い、ショックが大きい。
- ・自分自身がむし歯で大変な思いをしたので、子どもに同じ思いをさせたくない。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

仕上げ磨きなどをしっかり行う

- ・ 1 日 1 ～ 2 回時間を決めて、必ず母が仕上げ磨きを行っている。
- ・ 仕上げ磨きを嫌がるので、兄姉の真似をさせたり、むし歯の怖さを言い聞かせるなどの工夫をして磨いている。「口の中にバイキンマンがいるよ」「ムシムシが来るよ」など
- ・ 汚れがたまったときなど、デンタルフロスを時々使用している。
- ・ 幼児健診の時にフッ素塗布を受けている。

歯科受診をする

- ・ かかりつけ医を持つ。
- ・ 保育所の歯科健診後に受診してから、継続して受診している。

<特に取り組んでいない>

むし歯につながるおそれがある。

- ・ 仕上げ磨きを泣いて嫌がる。
- ・ 朝は特に忙しいため、仕上げ磨きをしてあげられない。
- ・ 子育てに忙しいと、親は自分の歯にまで気が回らないため、自分の歯磨きに時間をかけられない。

- ・ 3 歳児健診の後は歯科医院へフッ素塗布に行っていない。
- ・ 健診だけで歯科医院に行こうとはあまり思わない。

今後自分・家族ができそうなこと

【自助・互助】

- ・ 親が子どもの歯や口の健康に対して関心を持つ。
- ・ 親自身が自分の歯の健康に対して意識を高め、子どもの手本になるような習慣を持つ。
- ・ 歯ブラシを常に携帯する習慣を身につける。「エコバックを持ち歩くように歯ブラシを持ち歩こう」

他の人をお願いしたいこと

【共助・公助】

- ・ 小学校入学まで定期的なフッ素塗布の機会があるとよい。
- ・ むし歯ができる仕組みや細菌を減らす方法について知りたい。
- ・ 子どもの頃から歯科健診の大切さや必要性について啓発してほしい。
- ・ かかりつけの歯科医院をどのように決めたらよいかわからない。情報がほしい。
- ・ インターネットをよく使うので、歯科保健に関する情報を得られるようにしてほしい。

歯と口の中の健康は全身の健康につながる！

- ・ 歯と口の中の健康はすごく大事。
- ・ 全身のいろいろな病気とも関係している。
- ・ 自分の歯がないとよく噛めない。
- ・ 噛むことは脳にもよい影響があると思っている。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯と口の手入れをしっかり行う

- ・ 毎日歯磨きをしている。
1 日 3 回（毎食後）、
2 回（朝・夕食後）、1 回（夕食後）、
4～5 回（毎食後・寝る前）
- ・ 歯間ブラシや糸付きようじを使っている。
- ・ 入れ歯洗浄剤を使っている。

定期的に歯科受診をする

- ・ 歯科医院に定期的に受診している。
歯科医院から案内通知が来るからわざわざ受診できて有難い。
- ・ 歯石除去のため 3～4 か月ごとに受診する。
歯の掃除をしてもらってスッキリする。
- ・ 仕事の合間に、昼休みや夕方に受診する。
- ・ 近くで通いやすい歯科医院をかかりつけ医にしている。

<特に取り組んでいない>

むし歯や歯周疾患の悪化、歯の喪失につながるおそれがある。

- ・ 歯が痛くならなければ歯科医院を受診しない。
- ・ 仕事優先で歯科医院受診ができない。
- ・ 歯が抜けると、手入れや通院をあきらめてしまう。
- ・ 医療費が高くなるのが心配。

今後自分・家族ができそうなこと

【自助・互助】

- ・ 歯磨き、歯科医院に行く等、今できることを続ける。

他の人にお願いしたいこと

【共助・公助】

- ・ 歯科医院の診療時間帯、曜日が増えると通院しやすい。（日曜診療等）

グループインタビュー

【高齢者】つかのめさんちゃん健康体操サークル参加者 12 人

歯と口の健康は、食べる楽しみや生きがいにつながっている！

- ・歯は一番大事である。
- ・歯がないと食べられない、生きていても面白くない。
- ・おいしく食べることが張り合いである。
- ・口の中はきれいにして、病原菌が体に入らないようにしたい。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯や入れ歯の手入れをしっかりと行う

- ・1日2～3回、食後に磨いている。
- ・糸付きようじや歯間ブラシを使用している。
- ・毎日寝る前に、入れ歯用歯ブラシを使い手入れをしている。

定期的に歯科受診をする

- ・歯石を取るため定期的に受診している。
歯科医院から案内通知をもらうので忘れずに受診できる。
- ・車を使わなくとも通院できる近くの歯科医院に受診している。
- ・歯科医院には大変満足している。
「訴えをよく聞いてくれる」「不安なことに対し丁寧に説明してくれる」「困った時に対応してくれる」

<特に取り組んでいない>

むし歯や歯周疾患の悪化、歯の喪失につながるおそれがある。

- ・痛みなどの症状がないと歯科医院を受診しない。

今後自分・家族ができそうなこと 【自助・互助】

- ・定期的に歯科健診を受ける。
歯科医院から案内通知が来たら忘れずに受診する。
- ・症状がなくても定期的に健診を受ける。

他の人にお願いしたいこと 【共助・公助】

- ・歯科医院に仕事が終わってから受診できる時間や土・日曜日に診療してもらいたい。
- ・歯科医師が往診してくれることを知らなかったので周知してほしい。

グループインタビュー【要介護者】地域包括支援センター職員 5 人

口の中まで手が回らない。誤嚥性肺炎が心配！

- ・本人から困っていることの訴えが少ない。
- ・家族は口の中の手入れにまで手が回らない様子である。
- ・地域包括支援センター職員は誤嚥性肺炎などの病気が心配。

困っていること

- ・入れ歯が合わない。
- ・食べ物や飲み物をうまく飲みめず、むせる。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯や入れ歯、口の中の手入れを行う

(家族)

- ・入浴時やデイサービスに行く時に歯を磨いている。
- ・うがいをする。

(地域包括支援センター職員)

- ・誤嚥性肺炎や食欲低下などを起こさないよう口の中の状態を観察している。

歯科受診をする

- ・介助により受診している。
- ・訪問歯科診療を利用しており、本人、家族に大変喜ばれている。

<特に取り組んでいない>

- ・毎日の歯磨きや入れ歯の手入れの慣がない人が多い。
- ・歯間ブラシや糸付きようじは使っていない人が多い。
- ・普段入れ歯をつけていない人が多い。
- ・入れ歯が合わず、食事がうまく摂れない人がいる。

誤嚥性肺炎を引き起こすおそれがある。

歯の喪失につながるおそれがある。

- ・痛みなど症状がないと歯科医院を受診しない。
- ・通院の交通手段の確保や介助が大変などの理由から、診療科の中では歯科受診が後回しになっている。

今後自分・家族ができそうなこと

【自助・互助】

- ・歯磨きや入れ歯の手入れを最低1日1回行う。
- ・定期的な歯科受診をする。
- ・要介護状態になる前から歯科健診や歯科受診を習慣にしておく。

他の人をお願いしたいこと

【共助・公助】

- ・要介護状態になる前から歯と口の手入れ方法や歯科受診の啓発。
- ・歯科受診の継続につながるような声かけ、励ましをしてもらえると有難い。
- ・洗浄効果の高い入れ歯洗浄剤など歯科用品の紹介をしてほしい。

歯磨きや受診は大変だけど、子どもをむし歯にさせたくない！

- ・子どもをむし歯にさせたくない。
- ・歯磨きを嫌がって大変だけど、むし歯をつくらないように頑張っている。
- ・将来、入れ歯にさせたくない。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯磨きや食生活の工夫をしている

- ・仕上げ磨きは、母親が朝と寝る前の1日2回行っている。(難しい場合は最低限寝る前だけは行う)
- ・仕上げ磨きの際に、おもちゃを持たせたり、鏡を見せる等の工夫をしている。
- ・歯磨きが上手く出来ないので、「食べたらお茶を飲ませる」「お菓子、ジュース等のだらだら食い、飲みをさせない」等を心がけている。

歯科受診をする

- ・保育所歯科健診でむし歯が見つかったらすぐに受診する。
- ・かかりつけ医に受診している。

子どもの状態がわかってもらえるかかりつけ医は大事。

<特に取り組んでいない・出来なくて困っている>

- ・歯磨きができない。
- ・デンタルフロスが使えない。
→歯磨きを嫌がったり、歯ブラシを噛んでしまうため、歯ブラシやデンタルフロス等の歯科道具が使えず、仕上げ磨きは大変である。

むし歯や歯周疾患の悪化を防ぎたい。

- ・歯科受診ができない。
→受診させたいが、嫌がる。
「治療の音や待ち時間が苦手」「じっとしていられない」「怖がって暴れる」「逃げる」等
親も子も大変でおっくうになる。
歯科医院の方に抑えてもらうのが大変で申し訳ない。
通院回数が少ないと有難い。

今後自分・家族ができそうなこと
【自助・互助】

- ・むし歯になる前から定期的に歯科受診し、むし歯等の点検をしてもらう。

他の人にお願いしたいこと
【共助・公助】

- ・むし歯予防対策として、歯科医院によるフッ化物塗布等以外に、学校でのフッ化物洗口を行ってほしい。
- ・次回の歯科受診のタイミング等を具体的に教えてほしい。

グループインタビュー【障がい者】相談支援事業所職員 4 人

何でもおいしく食べたい！

- (本人) ・むし歯等による痛みがあっても、何でも食べている。
 ・歯や口の中の症状を自覚したり、症状や困っていることを表現することが難しい。
- (家族) ・歯科受診しても障がい者ということで診てもらえないと思い込んでいたり、無理に治療しなくてもよいと思っている。あきらめているようだ。
- (相談支援事業所等職員)
 ・歯や口の健康に関する本人、家族からの困りごとの訴えが少ない。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯磨きの習慣を持つ

- ・食後の歯磨きを行っている。
- ・小さい頃からの生活習慣やしつけにより歯磨き習慣が身についている。
- ・多くの通所施設では、職員が声をかけ、昼食後の歯磨きが習慣になっている。

定期的な歯科健診と歯科受診

- ・入所、通所施設では年 1 回歯科健診を受けているところがほとんどである。
- ・かかりつけの歯科医院で治療している。
- ・歯科健診後は職員が受診勧奨を行っている。

<特に取り組んでいることはない>

むし歯や歯周疾患の悪化、歯の喪失につながるおそれがある。

- ・口が開けられない人は歯磨きができない。
- ・本人の歯磨き習慣が身についていない。
- ・染め出しをすると利き手側が磨けていない。
- ・施設によっては昼食後歯磨きの声かけを行っていないところがある。

- ・歯科医院に受診しない。
- 歯科治療時の音等が怖くて受診できない。どこの歯科医院に受診すればいいのかわからない。
- 医療費助成を受けられない人は医療費を心配している。
- ・歯科健診結果は歯肉炎が多い。

今後自分・家族ができそうなこと 【自助・互助】

- (本人・家族)
- ・定期的に歯科健診を受診する。

他の人にお願いしたいこと 【共助・公助】

- ・本人、家族に対し、職員や訪問系サービス等の利用による歯科受診支援と啓発を行ってほしい。
- ・本人、家族、相談支援事業所等職員が、歯や口の健康に関する知識や技術が習得できる機会を作ってほしい。
- ・車椅子での治療対応が可能な歯科医院の情報を提供してほしい。

おいしく食べて、しゃべって、美しく、健康長寿を目指したい！

- ・自分の歯でしっかり噛んで、おいしく食事出来ることは幸せ。
- ・歯は発音にも影響する。歯がないとしゃべりにくい。
- ・歯がないと人相が変わる。歯は美しさを保つため必要。
- ・歯は全身の健康に影響を及ぼす。
- ・歯が丈夫な人は健康長寿のイメージがある。
- ・歯が悪くなると年をとったと思う。
- ・むし歯や歯周病になりたくない。
- ・むし歯になって痛い思いをしたので、歯の手入れはきちんとしていたい。
- ・歯磨きは子どもの頃からの習慣。歯を磨かないと気持ちが悪い。

困っていること

- ・口の中の状態が気になる。…口臭、口渇、口内炎
- ・歯の隙間に食べ物が挟まる。
- ・入れ歯が合わない。
- ・歯並びの悪いことが気になる。
- ・歯の色が気になる。

そのためには…

<取り組んでいることがある>

歯と口の手入れを楽しい習慣にする

- ・歯科医院で習った方法で歯磨きしている。
- ・職場や外出先でも歯を磨く。歯ブラシをバックに入れて持ち歩いている。
- ・歯ブラシは柔らかくヘッドが小さく、気に入ったものを使っている。
- ・歯間ブラシ、糸付きようじを使っている。
- ・歯磨き剤は目的別に選んで使っている。
むし歯予防、歯周病予防、ホワイトニング、リフレッシュ等
- ・舌ブラシを使っている。
- ・入れ歯洗浄剤を使っている。

定期的・早期に歯科受診をする

- ・かかりつけ医を決めている。
- ・定期受診し、歯石除去、歯の清掃、ブラッシング指導を受けている。
- ・学校歯科健診、市の歯周疾患検診がきっかけで受診した。

<特に取り組んでいない>

- ・自己流の歯磨きになっている。
- ・デンタルフロスや歯間ブラシを使っていない。

むし歯や歯周疾患の悪化につながるおそれがある。

- ・痛みがないので歯科受診しない。
- ・歯の詰め物がとれた、入れ歯が合わない等、困ったことが起きたら受診する。

今後自分・家族ができそうなこと
【自助・互助】

- ・定期的な歯科受診
- ・気になる場所があったら早めに歯科医院を受診する。
- ・時間をかけてしっかり歯を磨く。
- ・硬い物を食べる。
- ・甘い物、甘い飲み物を控える。
- ・口の体操を行う。

他の人をお願いしたいこと
【共助・公助】

- ・歯周疾患検診は 40 歳未満も対象にしてほしい。
- ・広報やチラシで歯と口の健康に関する情報を提供してほしい。
- ・成人や高齢者に対する歯磨き指導の機会を増やしてほしい。
- ・歯と口の中に関する講演会を開催して欲しい。
- ・土・日曜、夜間も診療している医療機関が増えると有難い。

＜アンケートの概要＞

【実施方法】 保育所（園）・小中学校・高校を通じて対象者に配布、回収
20 歳以上の市民は郵送で配布、回収

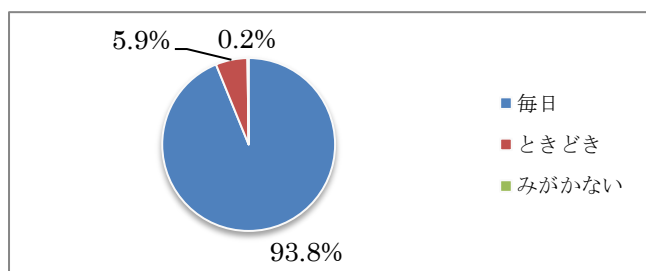


区分	対象者	対象数	回答数
幼児	市内保育所（園）・幼稚園の 5 歳児の保護者 （第一、第三、第四、栄、下田中学校区）	551 人	446 人（80.9%）
小学生	市内全校の小学 3 年生	887 人	816 人（92.0%）
中学生	市内全校の中学 2 年生	981 人	918 人（93.6%）
高校生	市内 2 校の高校 3 年生	389 人	357 人（91.8%）
成人	20 歳以上の市民 無作為抽出 （20、30、40、50、60、70、80 歳代）	2,000 人	808 人（40.4%）
合計		4,808 人	3,345 人（69.6%）

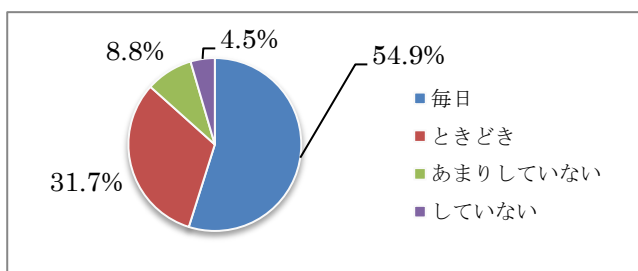


幼児

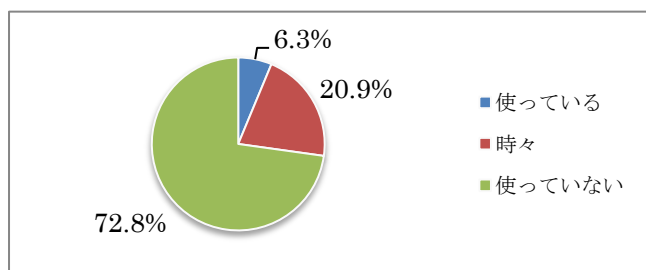
1 歯磨きの頻度



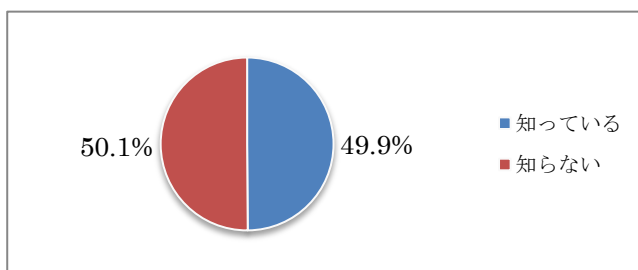
1-2 仕上げ磨き



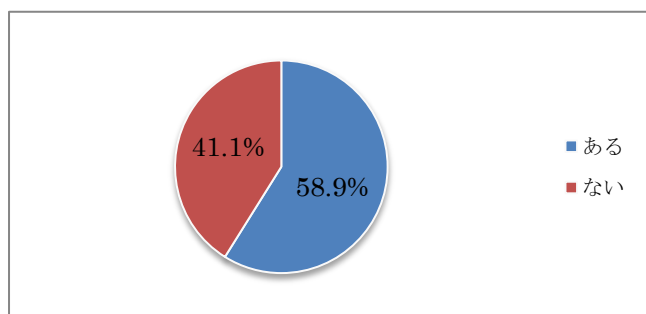
2 補助用具（デンタルフロス等）を使っているか



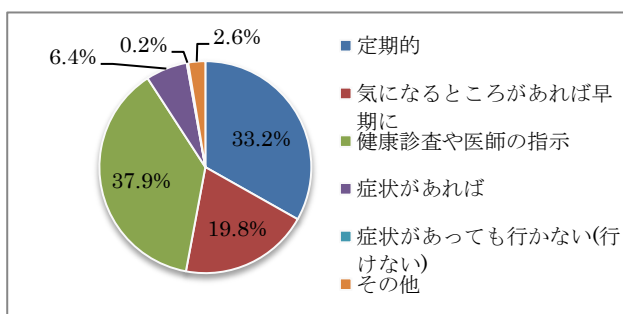
3 正しい仕上げ磨きの仕方を知っているか



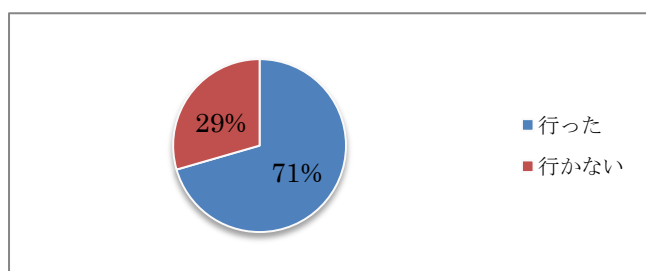
4 正しい仕上げ磨きの方法を習ったことがあるか



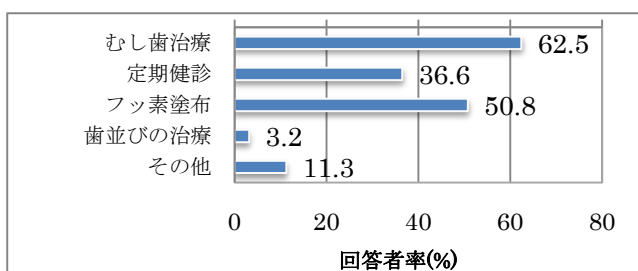
5 どんな場合に歯科医院へ連れて行くか



6 過去一年間に歯科医院に行ったか

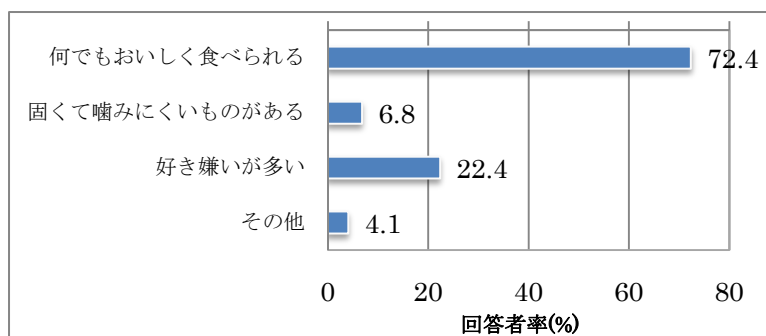


7 診療内容

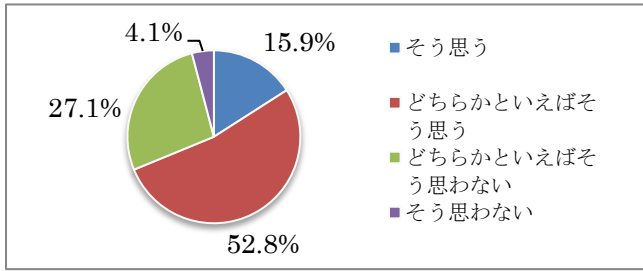


(「行った」と回答した人数を分母に計算)

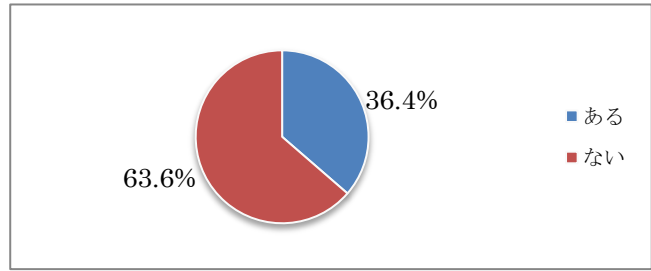
8 毎日の食事をおいしく食べられるか



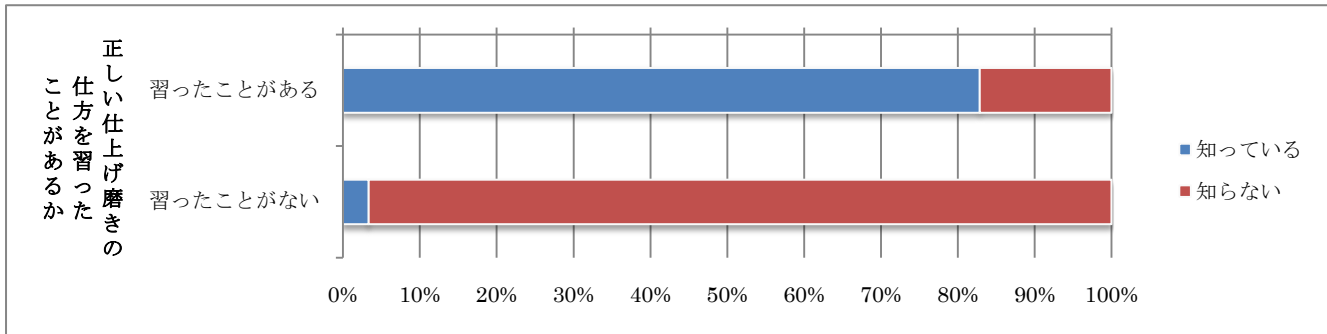
9 よく噛んでいるか



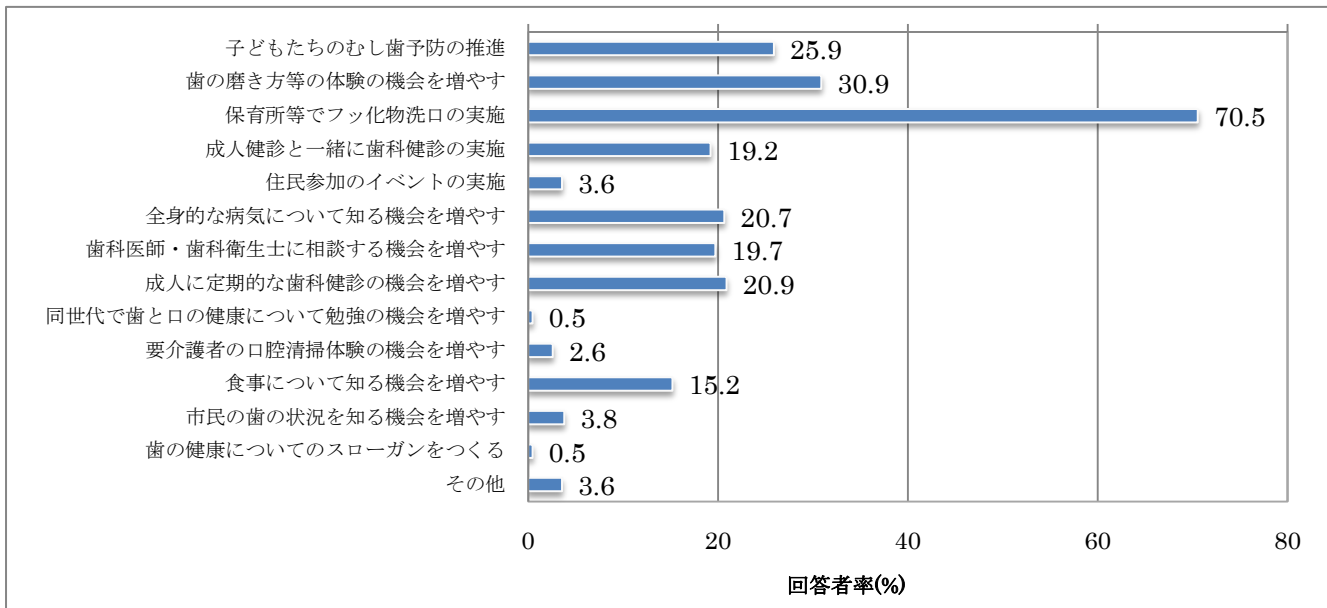
10 歯や口の中に関する悩みごと



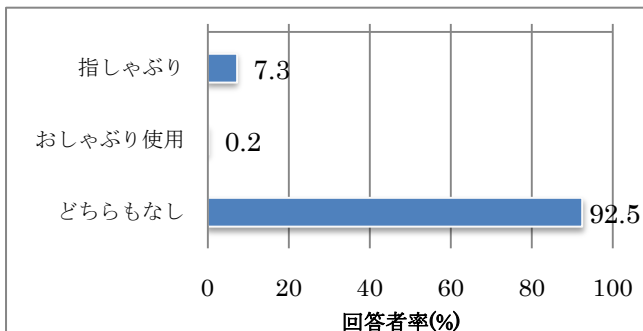
11 仕上げ磨きについての学習経験と知識との関連



12 歯や口の健康に関する要望

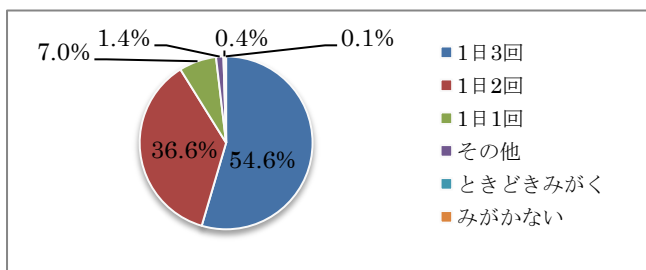


13 習癖

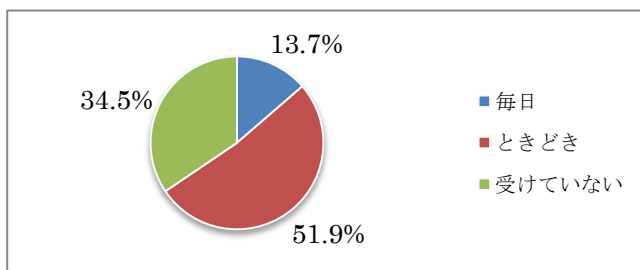


小学生

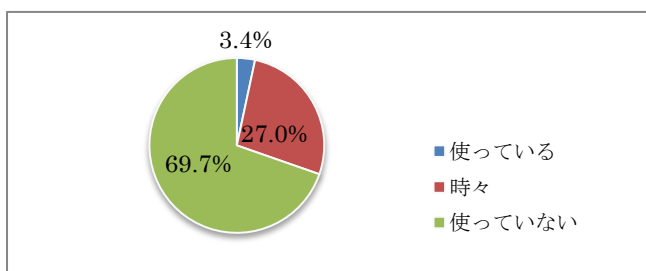
1 歯磨きの頻度



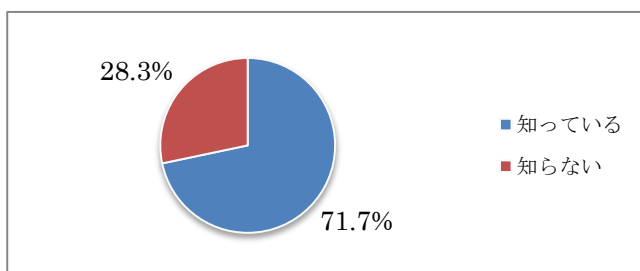
1-2 大人に歯磨きのチェックを受けているか



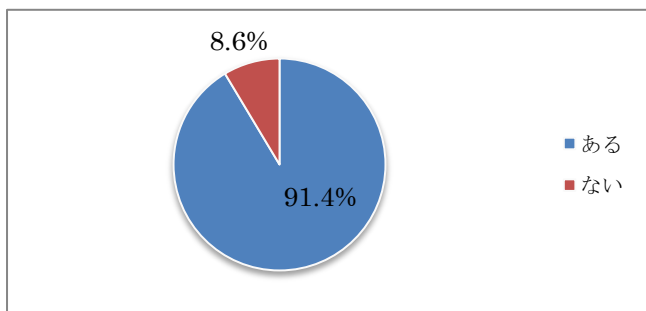
2 補助用具（デンタルフロス等）を使っているか



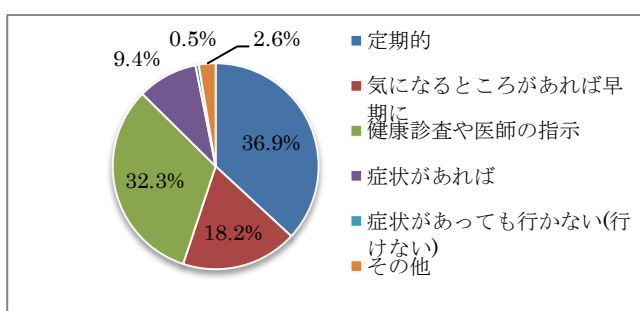
3 正しい歯磨きの仕方を知っているか



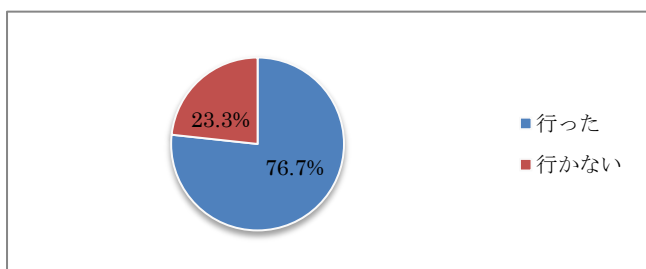
4 正しい歯磨きの仕方を知ったことがあるか



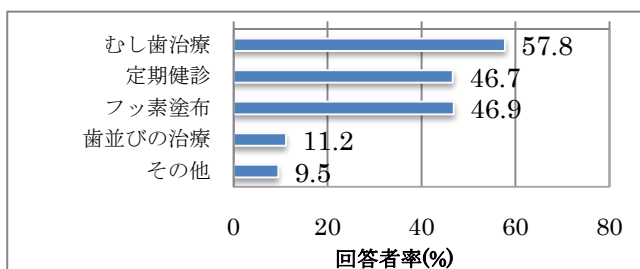
5 どんな場合に歯科医院へ行くか



6 過去一年間に歯科医院に行ったか

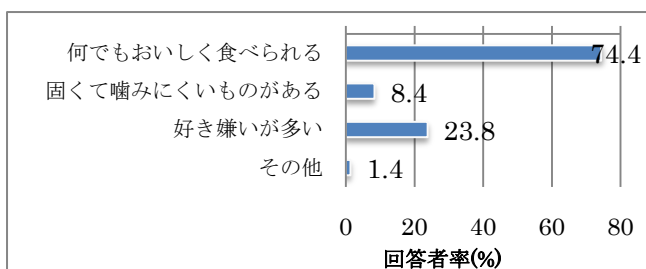


7 診療内容

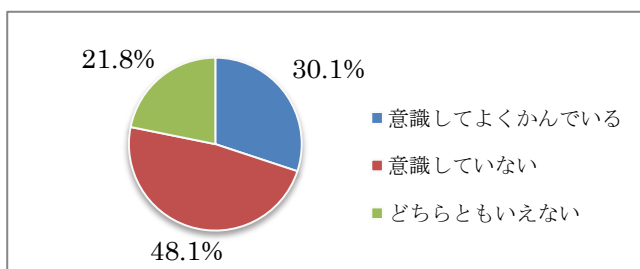


(「行った」と回答した人数を分母に計算)

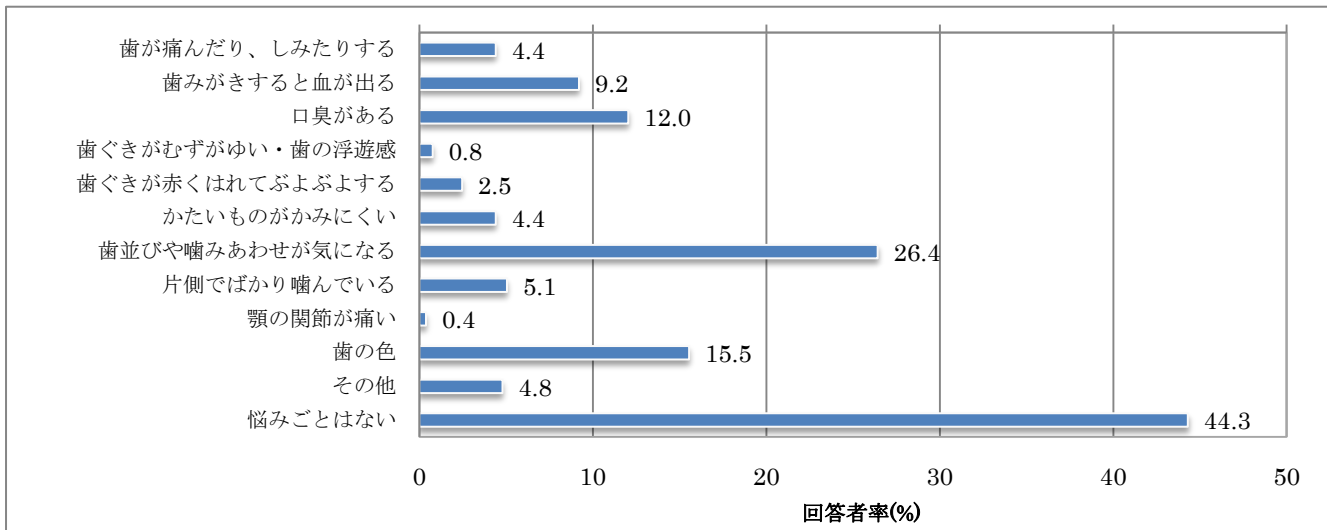
8 毎日の食事をおいしく食べられるか



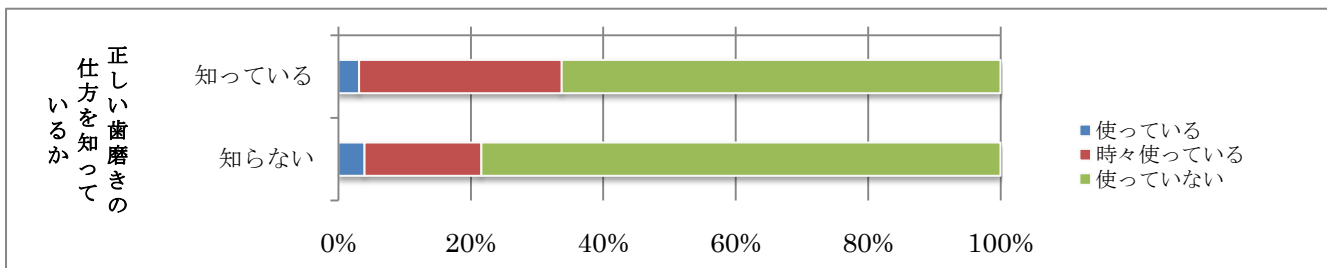
9 よく噛んでいるか



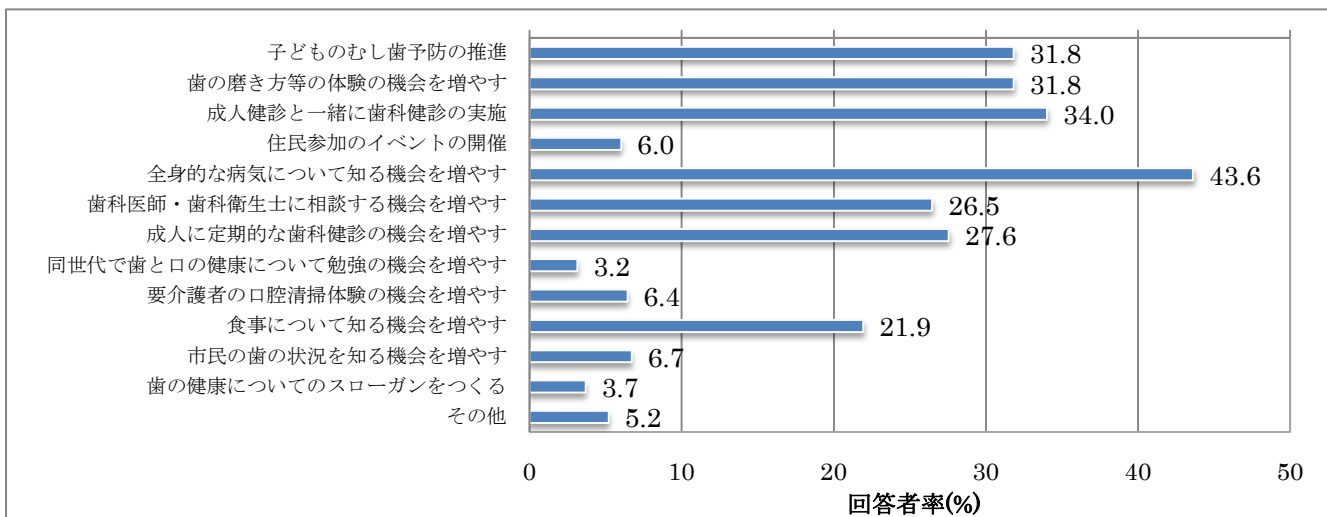
10 歯や口の中に関する悩みごと



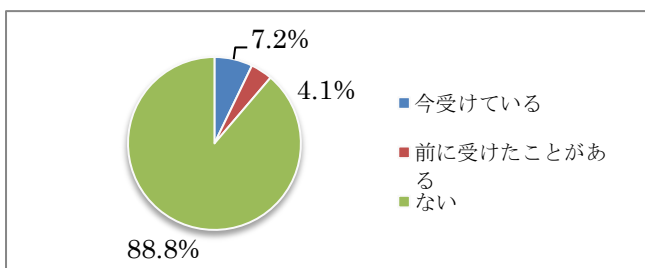
11 歯磨きの仕方を知っていることと、補助清掃用具の使用との関連



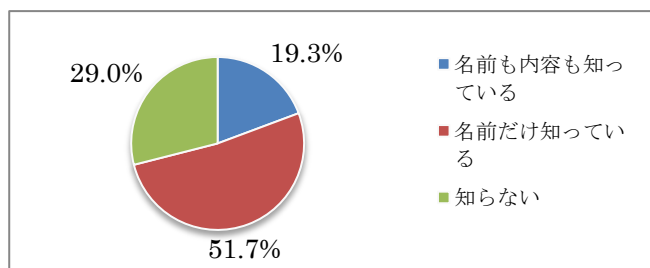
12 歯や口の健康に関する要望



13 歯科矯正を受けたことがあるか

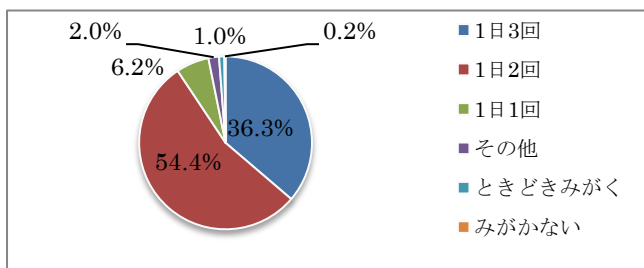


14 歯周病について知っているか

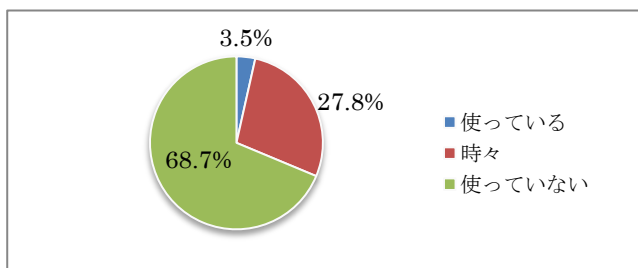


中学生

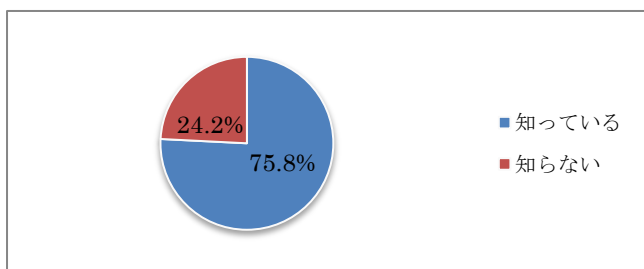
1 歯磨きの頻度



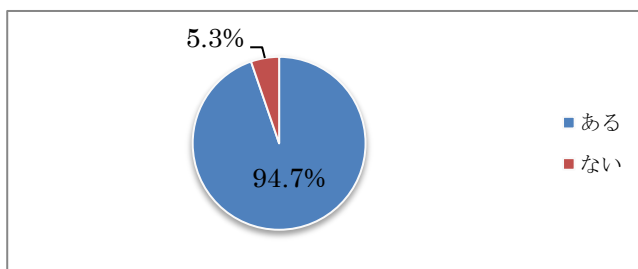
2 補助用具（デンタルフロス等）を使っているか



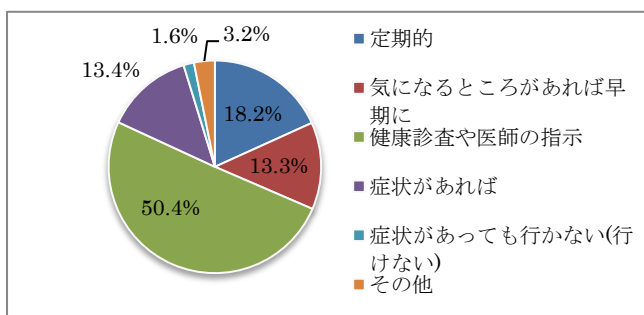
3 正しい歯磨きの仕方を知っているか



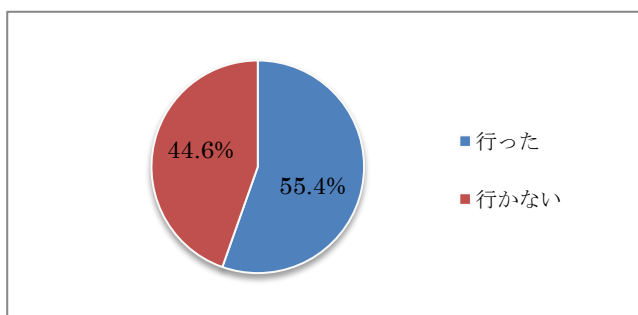
4 正しい歯磨きの仕方を知ったことがあるか



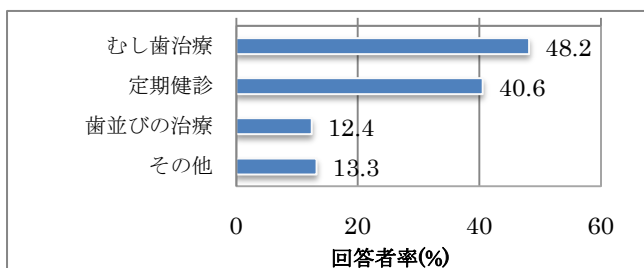
5 どんな場合に歯科医院へ行くか



6 過去一年間に歯科医院に行ったか

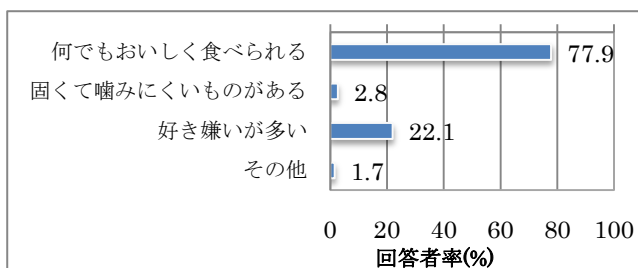


7 診療内容

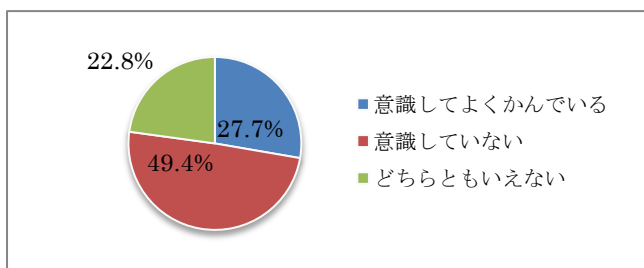


(「行った」と回答した人数を分母に計算)

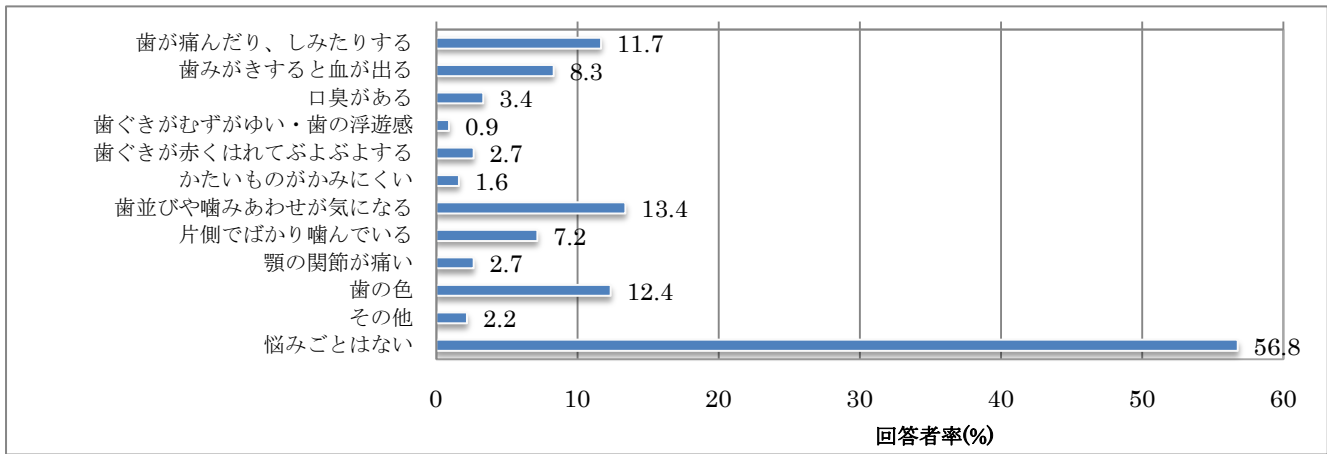
8 毎日の食事をおいしく食べられるか



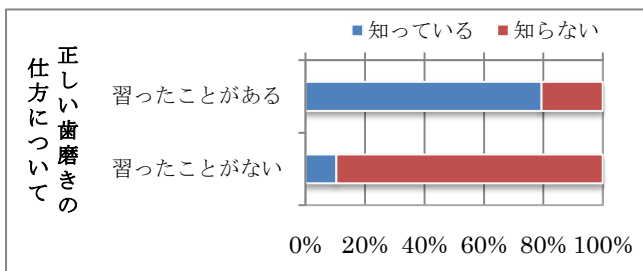
9 よく噛んでいるか



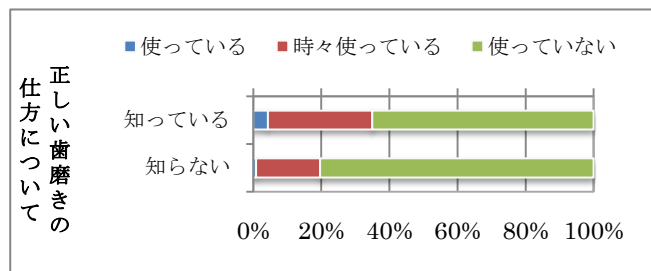
10 歯や口の中に関する悩みごと



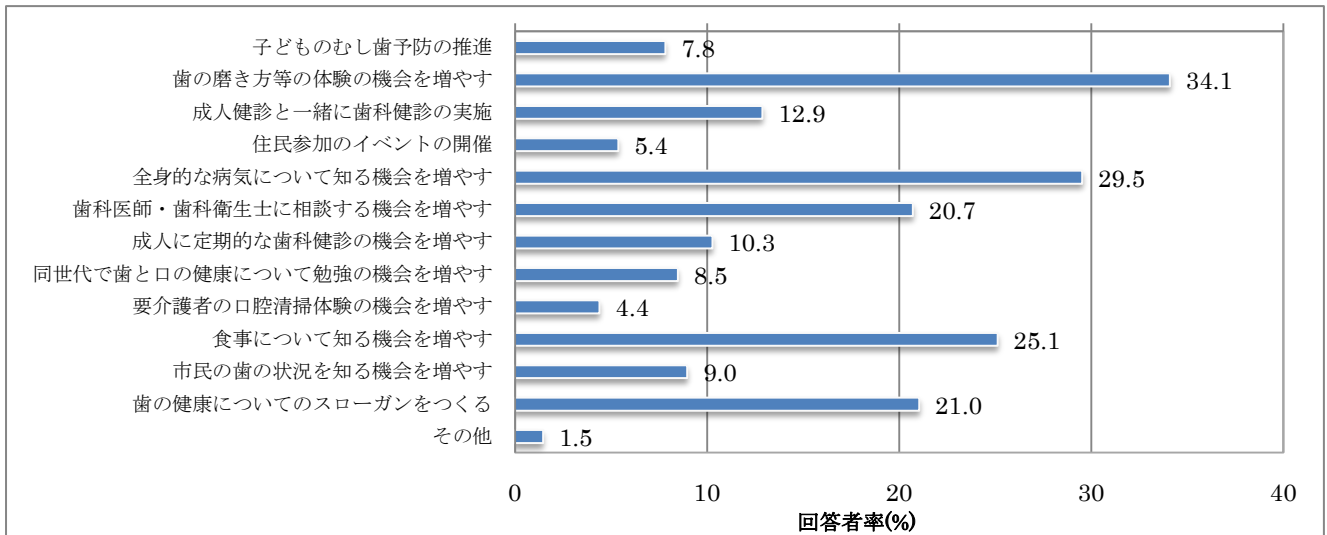
11-1 歯磨きについての学習経験と知識の有無との関連



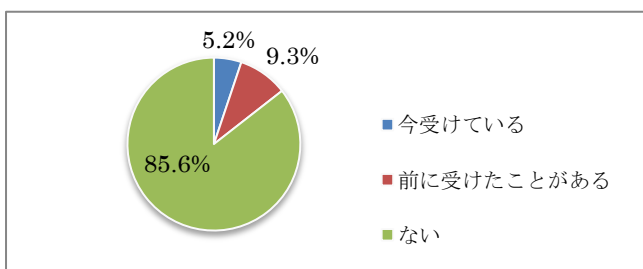
11-2 歯磨きについての知識の有無と、補助清掃用具の使用状況との関連



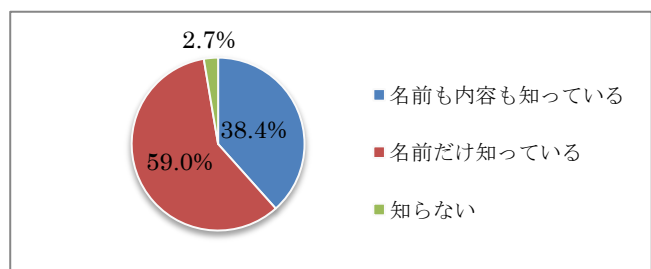
12 歯や口の健康に関する要望



13 歯科矯正を受けたことがあるか

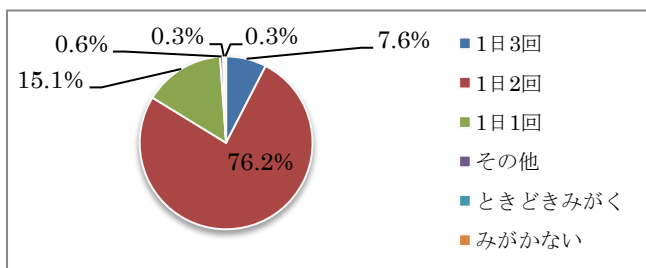


14 歯周病について知っているか

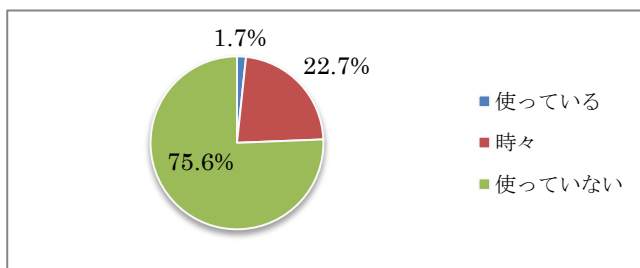


高校生

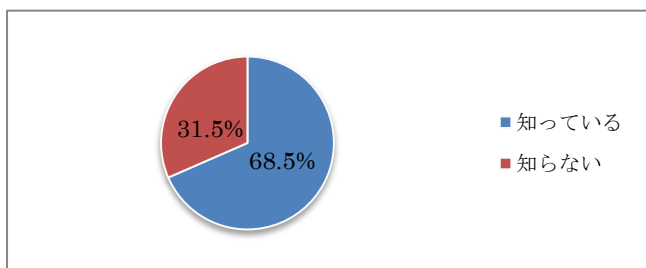
1 歯磨きの頻度



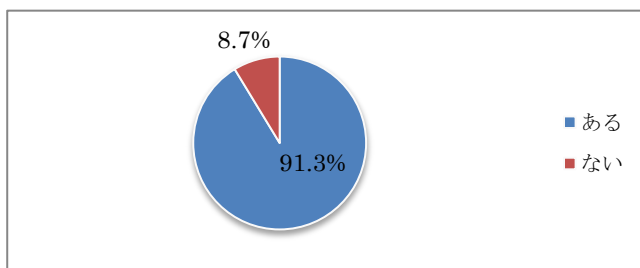
2 補助用具（デンタルフロス等）を使っているか



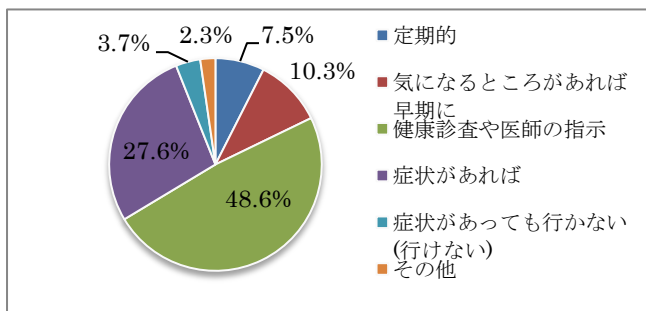
3 正しい歯磨きの仕方を知っているか



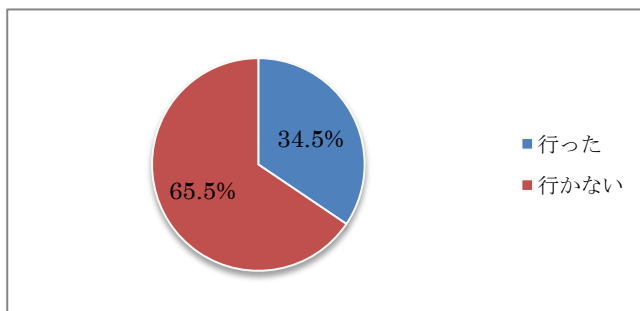
4 正しい歯磨きの方法を習ったことがあるか



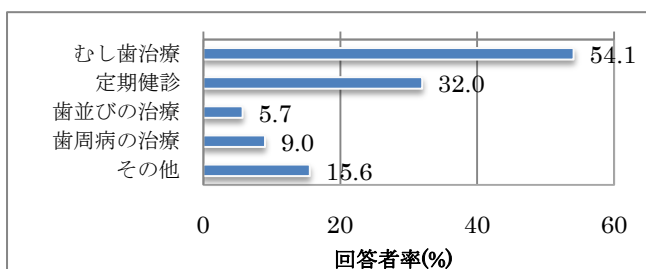
5 どんな場合に歯科医院へ行くか



6 過去一年間に歯科医院に行ったか

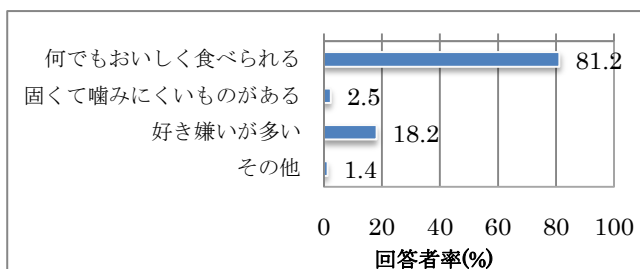


7 診療内容

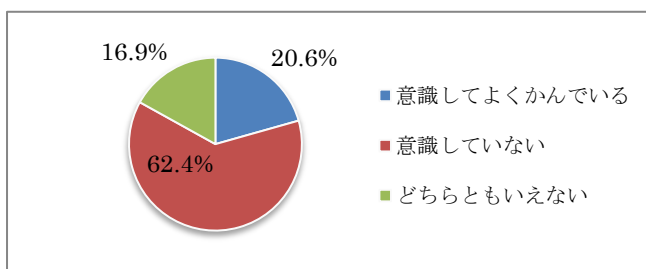


(「行った」と回答した人数を分母に計算)

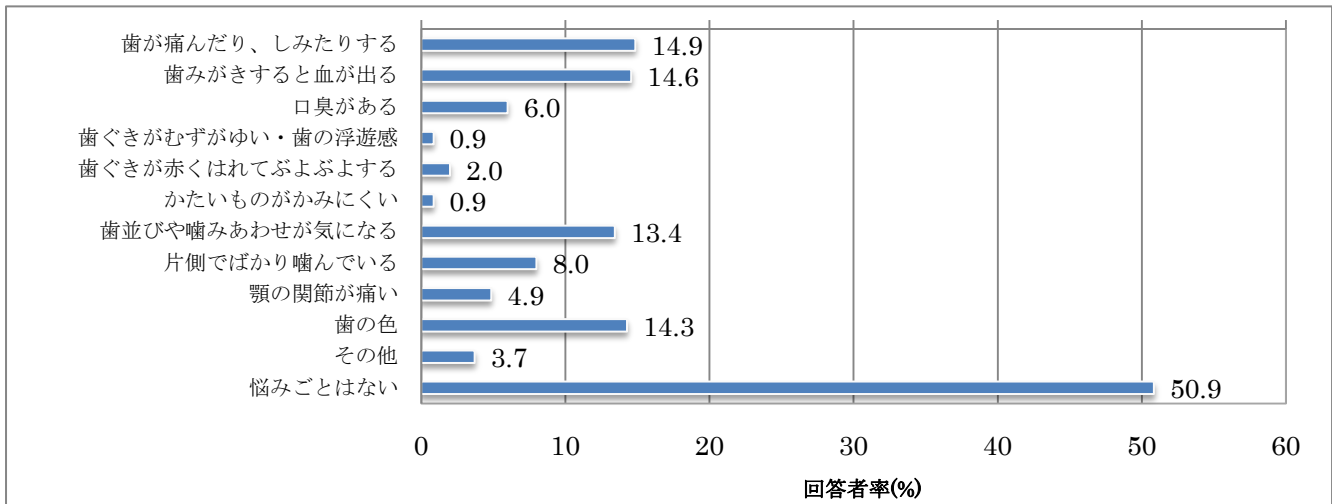
8 毎日の食事をおいしく食べられるか



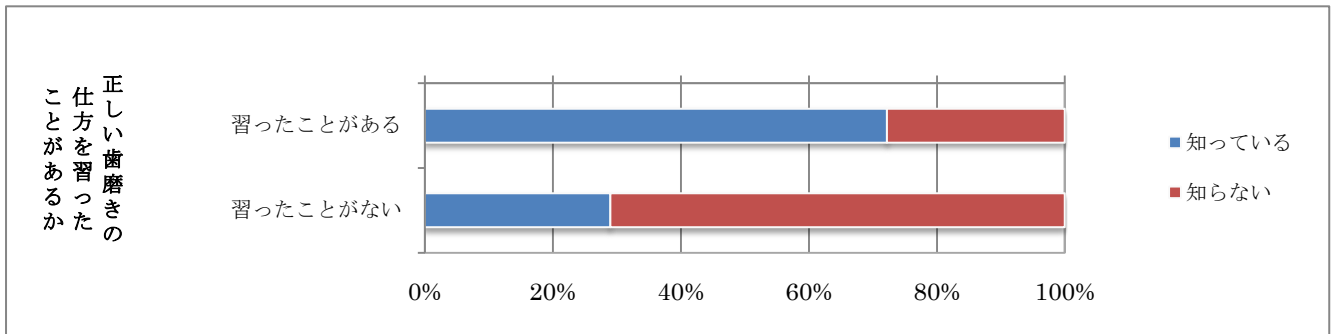
9 よく噛んでいるか



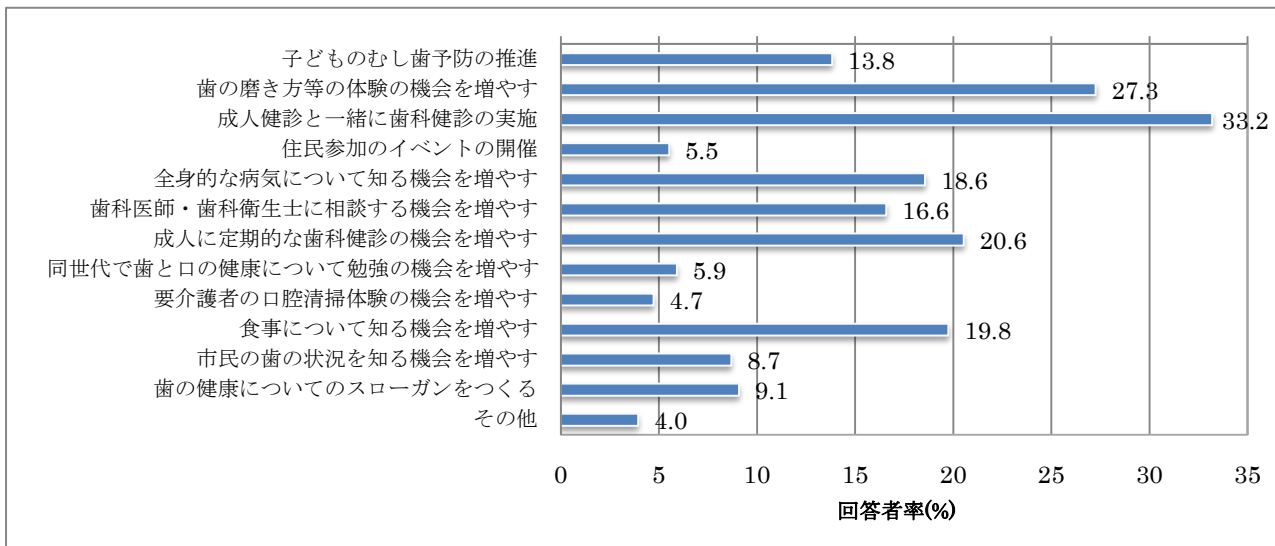
10 歯や口の中に関する悩みごと



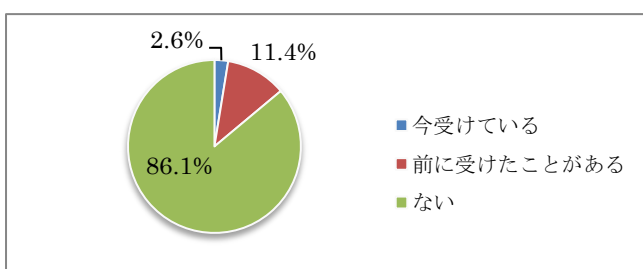
11 歯磨きに関する学習経験と知識との関連



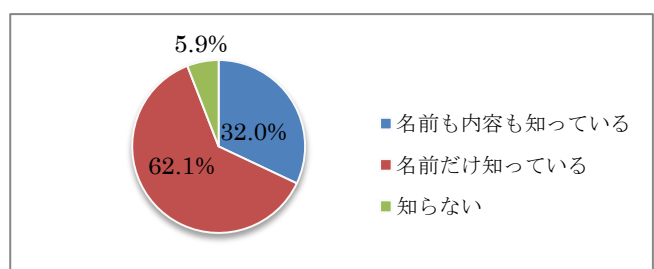
12 歯や口の健康に関する要望



13 歯科矯正を受けたことがあるか

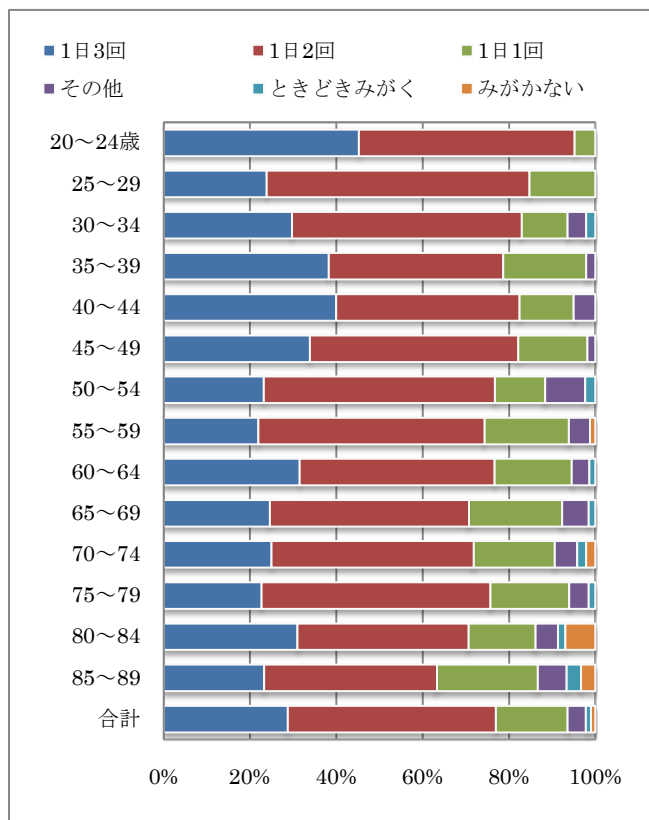


14 歯周病について知っているか

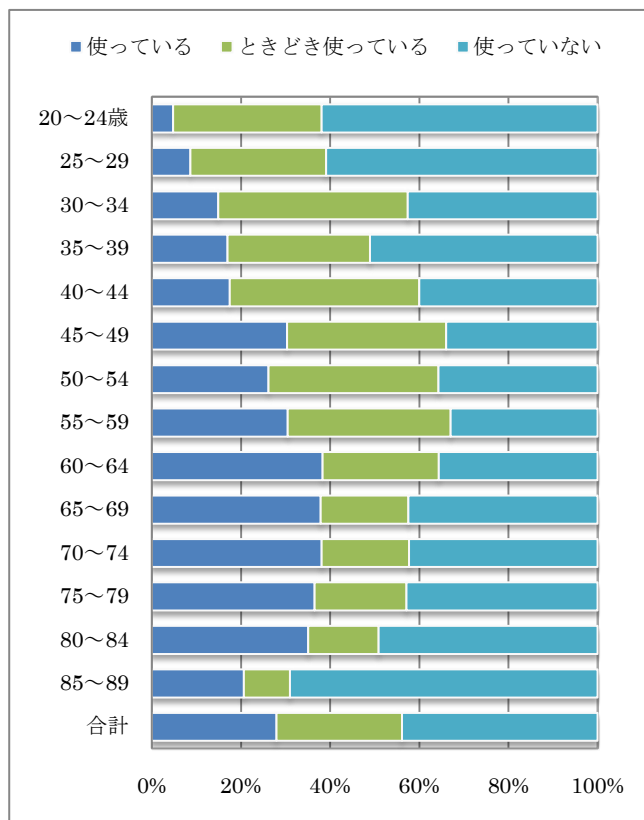


成人

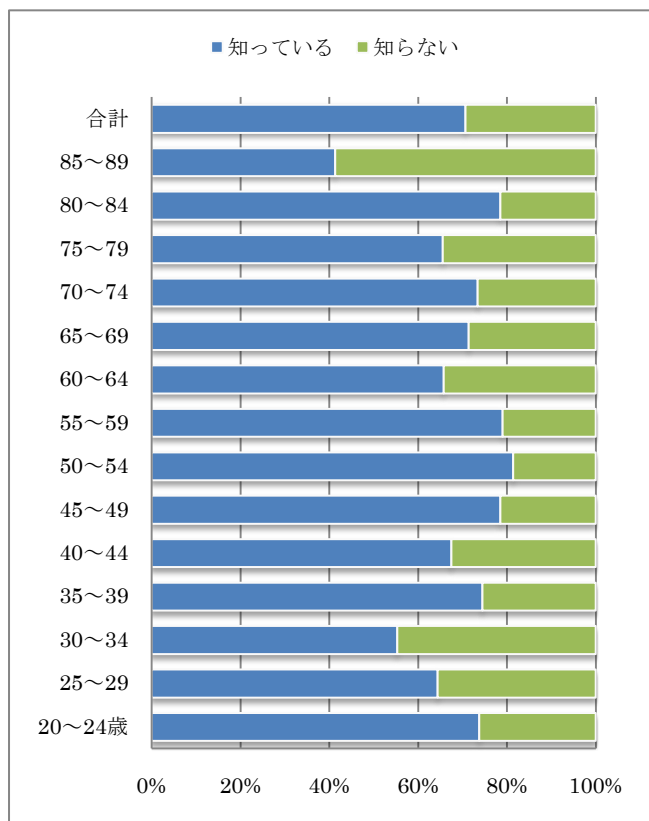
1 歯磨きの頻度



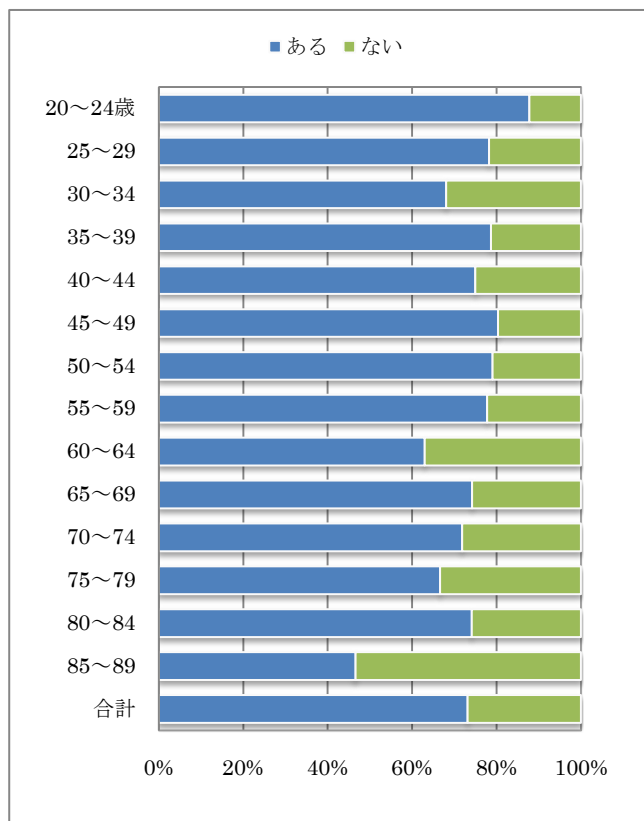
2 補助用具（デンタルフロス等）を使っているか



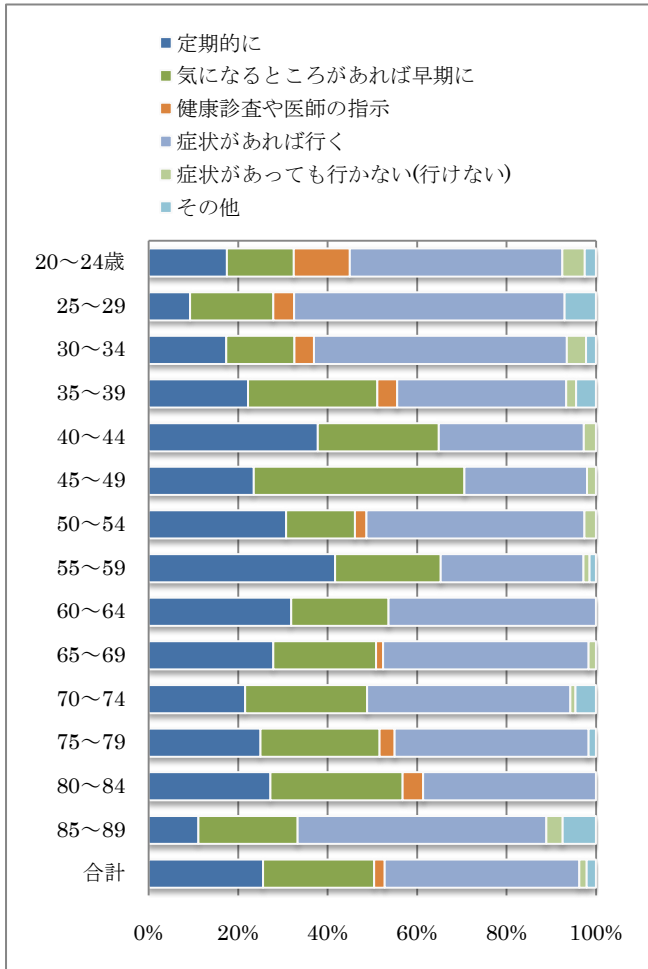
3 正しい歯磨きの仕方を知っているか



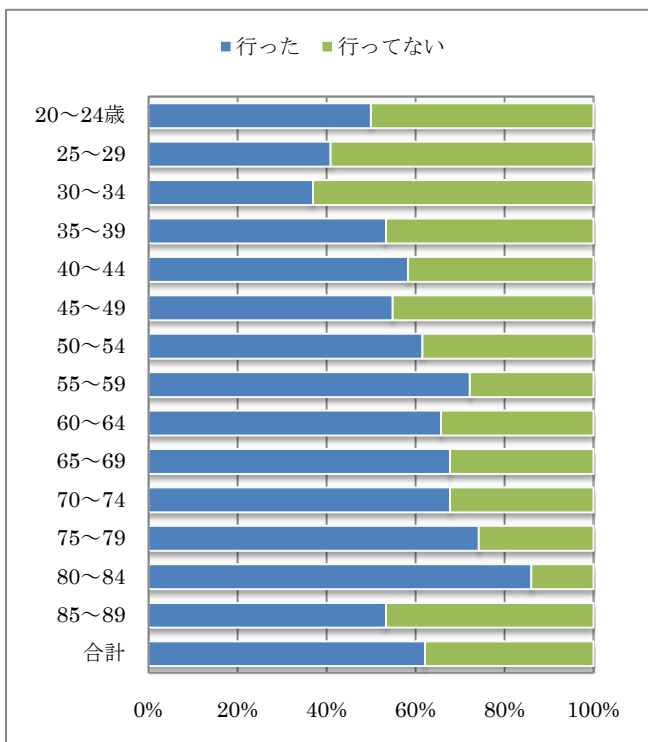
4 正しい歯磨きの方法を習ったことがあるか



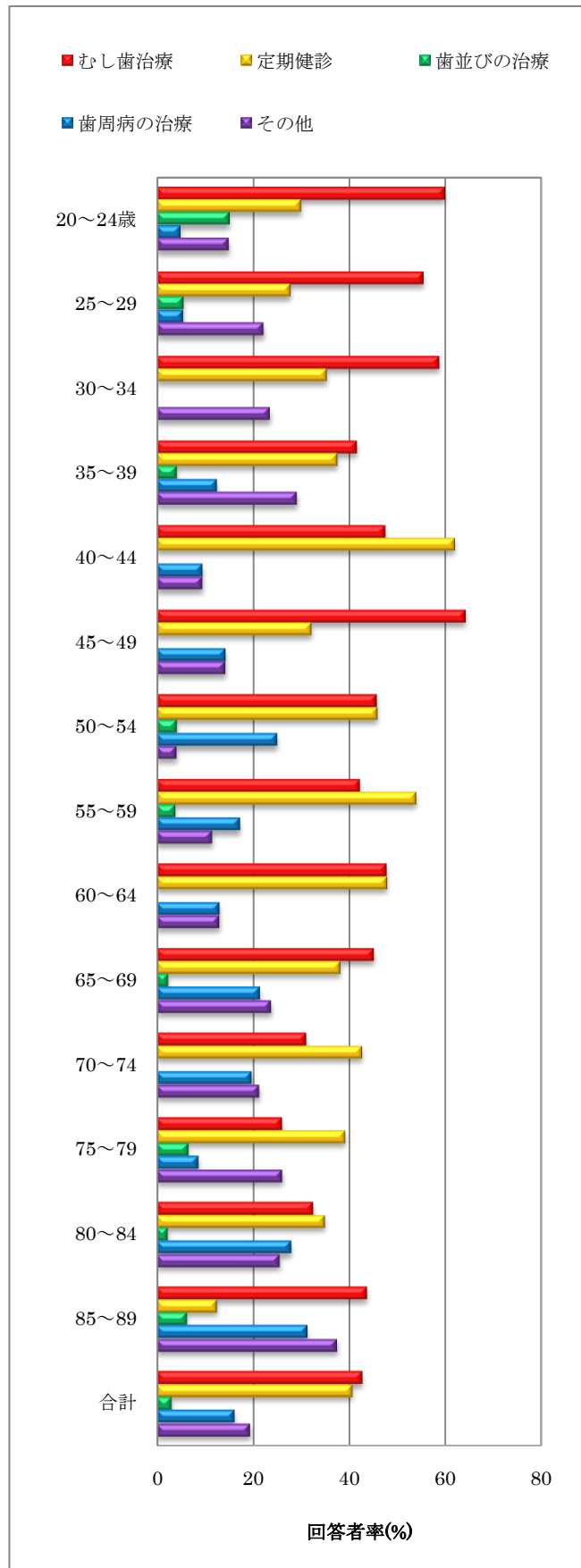
5 どんな場合に歯科医院へ行くか



6 過去一年間に歯科医院に行ったか

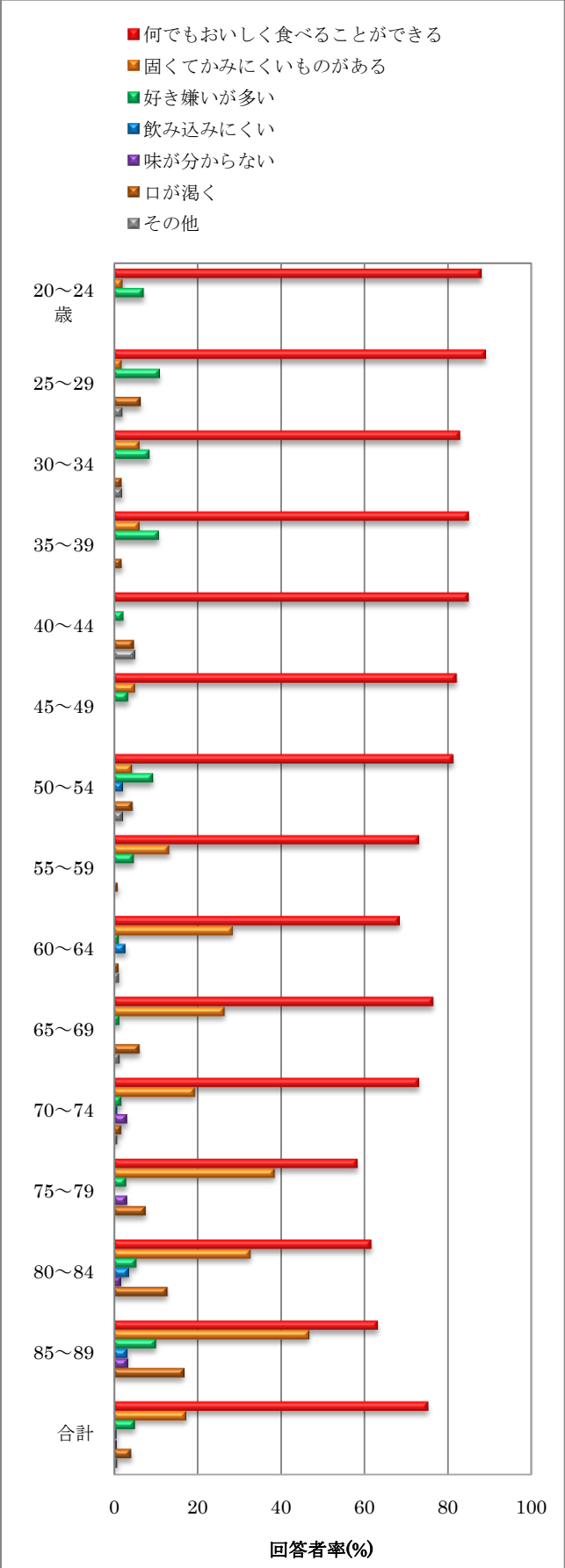


7 診療内容

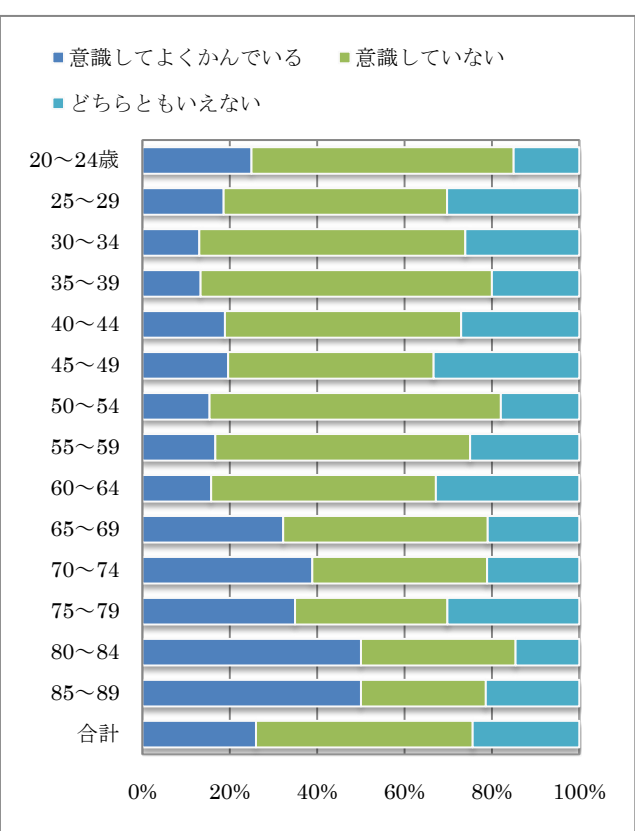


(「行った」と回答した人数を分母に計算)

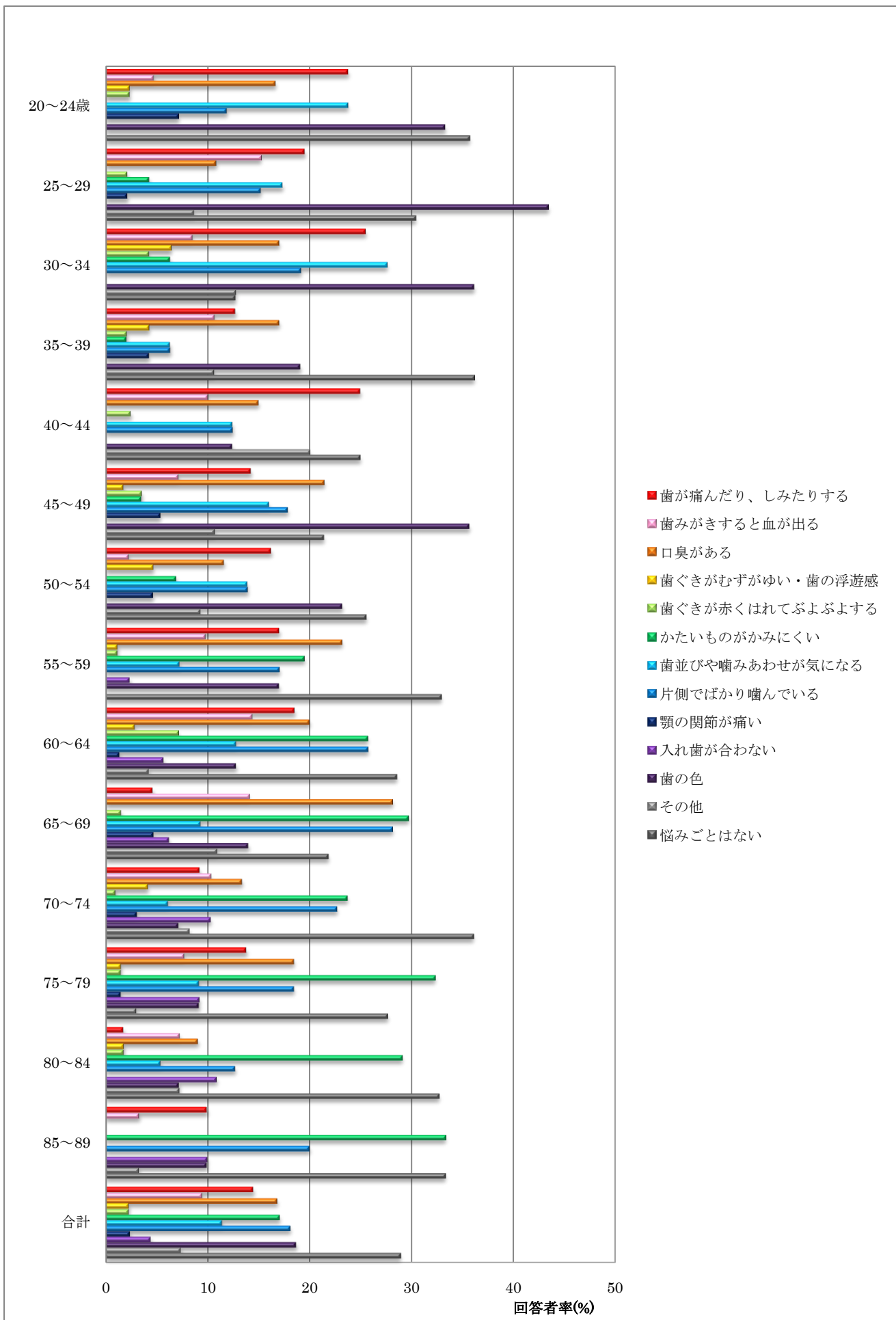
8 毎日の食事をおいしく食べられるか



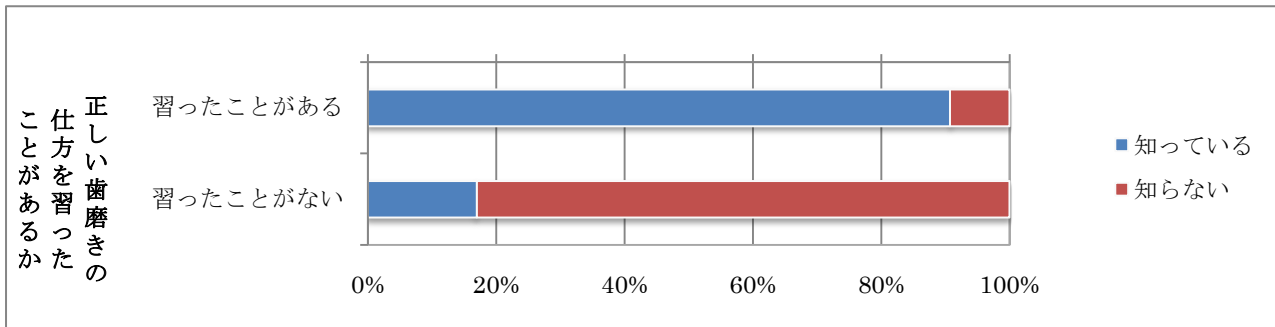
9 よく噛んでいるか



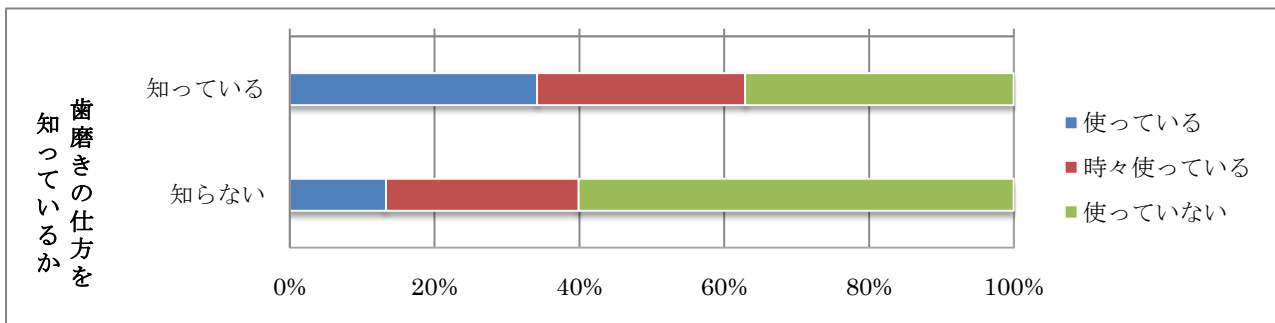
10 歯や口の中に関する悩みごと



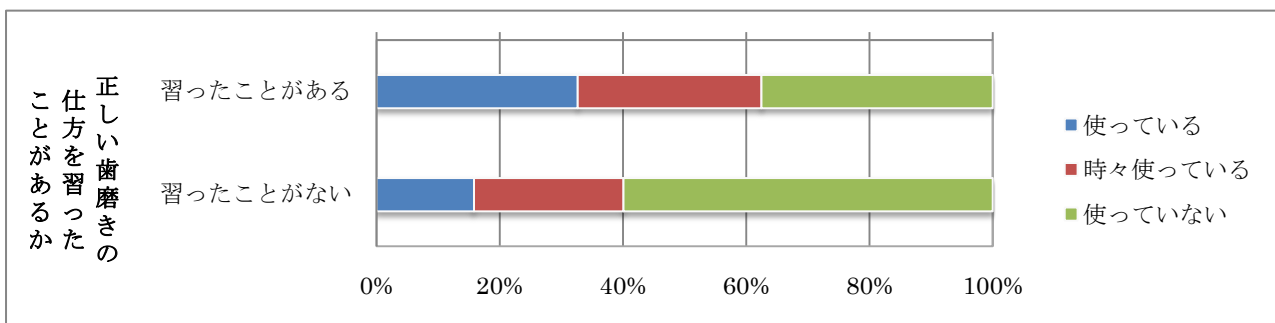
1 1 - 1 歯磨きの学習経験と歯磨きについての知識の有無との関連（無歯顎者を除く）



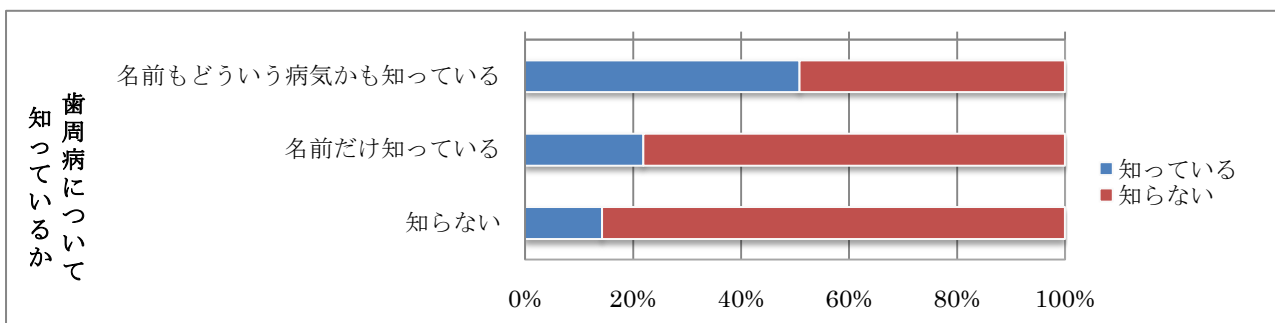
1 1 - 2 歯磨きについての知識の有無と補助清掃用具の使用状況との関連（無歯顎者を除く）



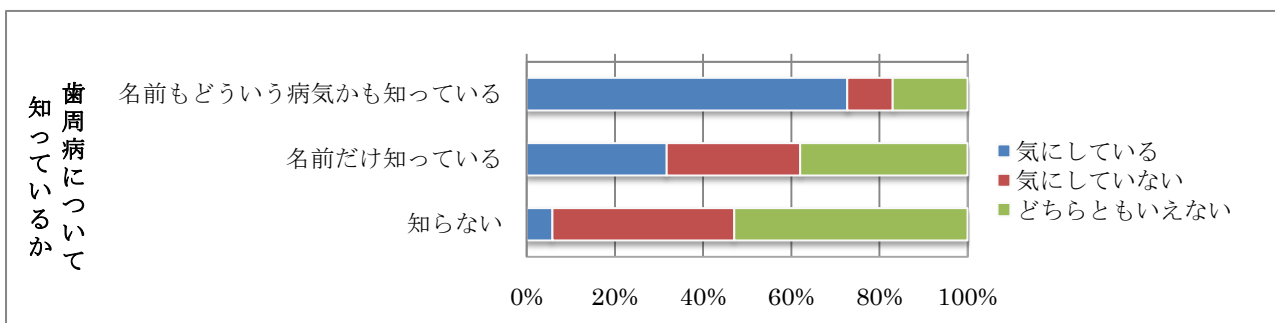
1 1 - 3 歯磨きの学習経験と補助清掃用具の使用状況との関連（無歯顎者を除く）



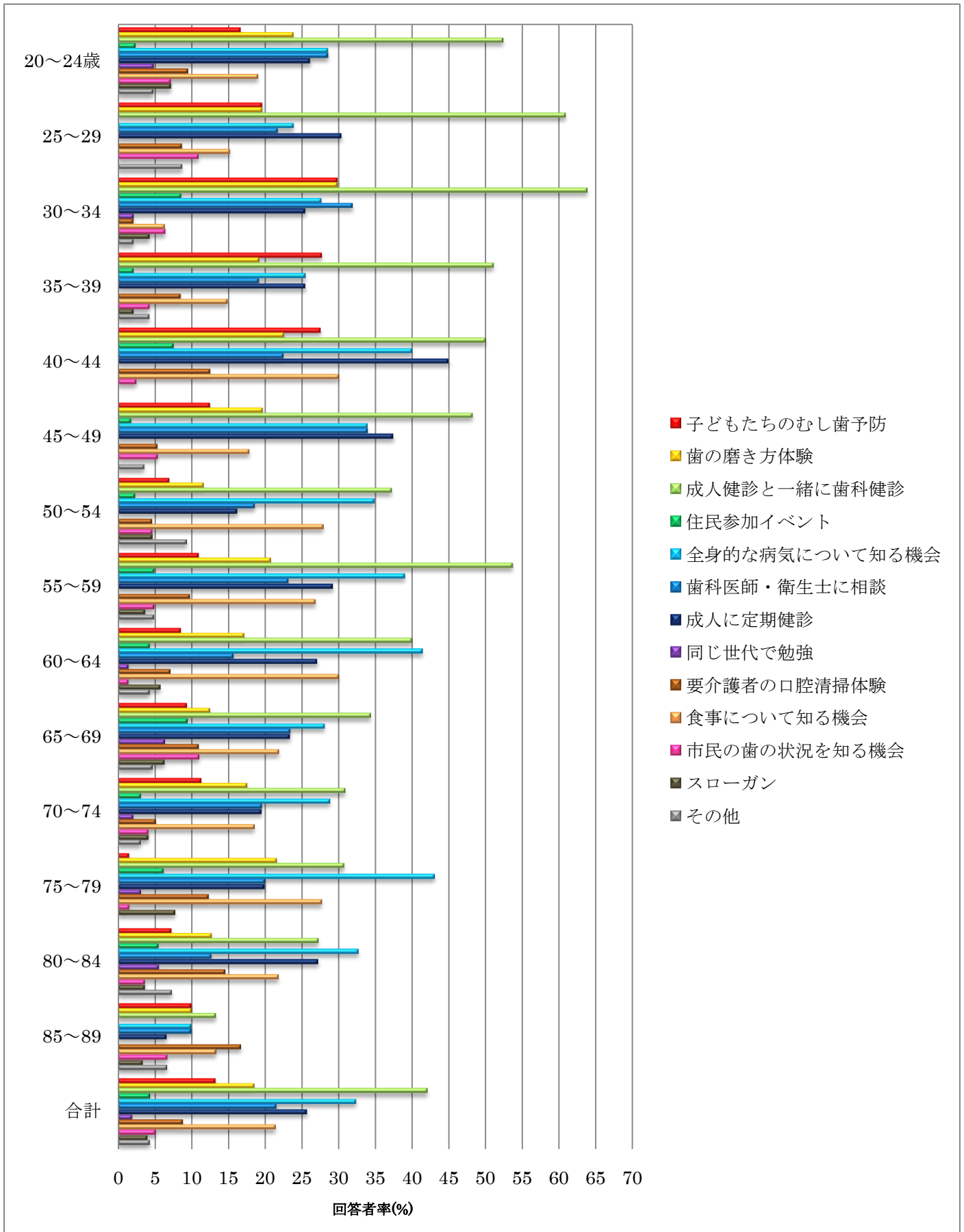
1 1 - 4 たばこと歯周病の関係を知っている人の割合の比較



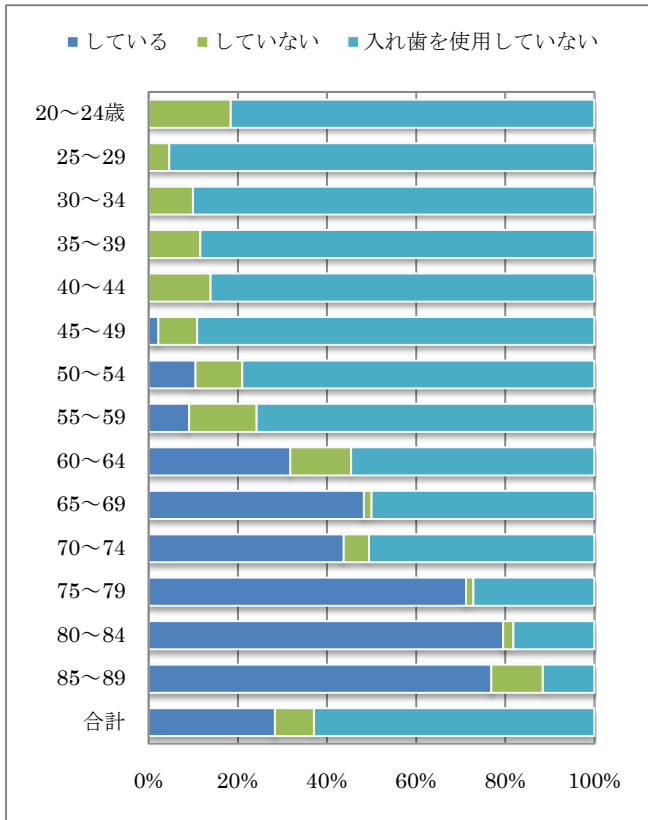
1 1 - 5 歯周病の知識の有無と歯周病を気にしていることとの関連（無歯顎者を除く）



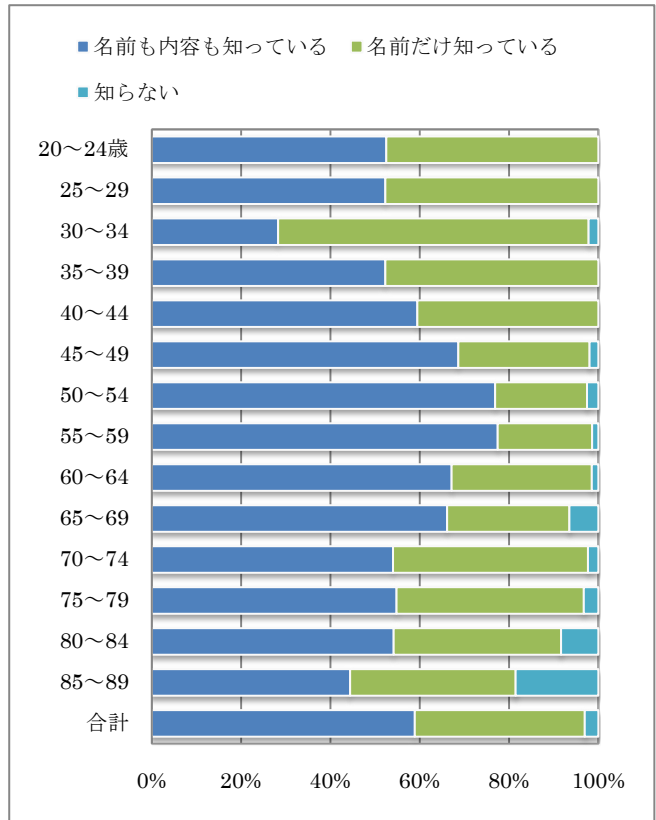
1 2 歯や口の健康に関する要望



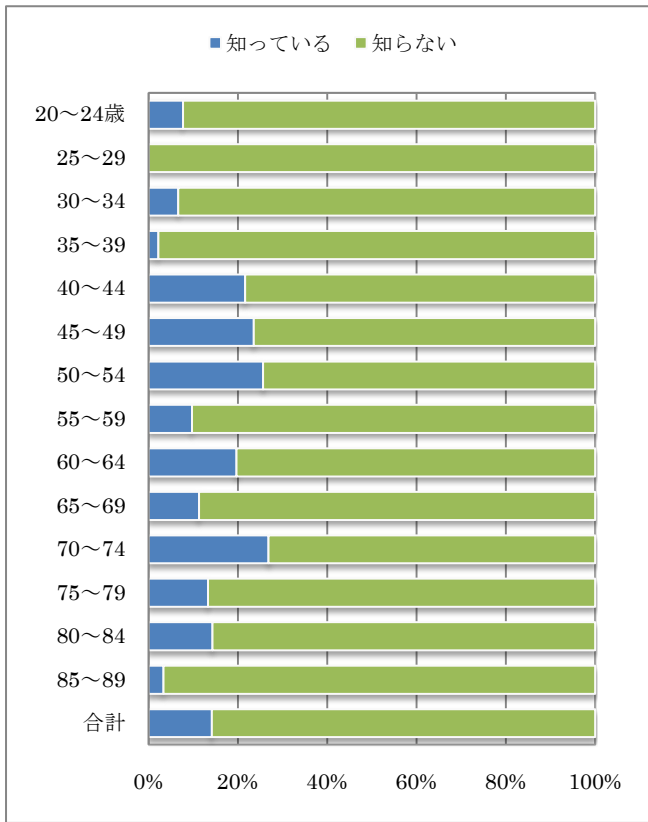
1 3 入れ歯の手入れをしているか



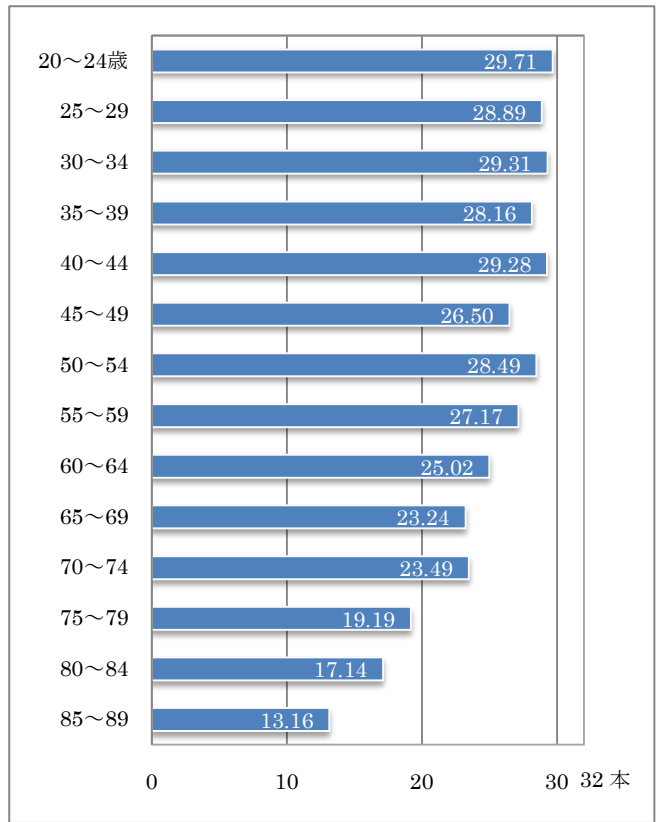
1 4 歯周病について知っているか



1 5 三条市歯周疾患検診を知っているか



1 6 永久歯の平均本数



三条市健康づくり推進協議会 開催状況

開催日	会議名	内容
H24.3.22	平成 23 年度 第2回 健康づくり推進協議会	・歯科保健計画策定について 計画策定の経緯、策定体制、実態調査、H23 年度の取り組み
H24.7.4	平成 24 年度 第1回 健康づくり推進協議会	・歯科保健計画策定について アンケート、グループインタビュー結果を踏まえた現状、問題点、課題、目標、行動指標、具体案の提案
H24.11.26	第2回 健康づくり推進協議会	・歯科保健計画案の協議 計画の概要、考え方、構成
H25.3.25	第3回 健康づくり推進協議会	・歯科保健計画案の協議

三条市歯科保健関係者会議 開催状況

開催日	会議名	内容
H23.12.14	第1回 歯科保健関係者会議	・計画の趣旨、策定までのスケジュールについて ・アンケート及びグループインタビューについて
H24.2.23	第2回 歯科保健関係者会議	・アンケート及びグループインタビューの進捗状況について ・実態分析、現状と課題の検討
H24.6.14	第3回 歯科保健関係者会議	・調査結果報告 アンケート、グループインタビュー ・調査結果から課題の確認 ・目標、具体策について
H24.9.27	第4回 歯科保健関係者会議	・歯科保健計画の骨子について ・計画の概要について
H24.12.20	第5回 歯科保健関係者会議	・第2次健康増進計画「健康さんじょう 21」について ・歯科口腔保健計画案の協議

三条市歯科保健計画策定 事務局連携会議 開催状況

開催日	会議名	内容
H23.11.30	第1回 事務局連携会議	・計画の趣旨、策定までのスケジュールについて ・アンケート及びグループインタビューについて ・各課で捉えている歯科に関する現在の取り組み、実態について
H24.1.6	第2回 事務局連携会議	・アンケート及びグループインタビューの進捗状況について ・実態分析、現状と課題の検討
H24.6.5	第3回 事務局連携会議	・調査結果報告 アンケート、グループインタビュー ・調査結果を踏まえた現状と課題の確認 ・各課の取り組み 目標、指標、具体策の検討
H24.12.11	第4回 事務局連携会議	・第2次健康増進計画「健康さんじょう 21」について ・歯科口腔保健計画案の検討

※事務局連携会議委員構成：三条市福祉保健部健康づくり課・高齢介護課・福祉課、
教育委員会子育て支援課・学校教育課、三条地域振興局健康福祉環境部医薬予防課

三条市健康づくり推進協議会 委員名簿

H23～24 年度

所 属	役 職	氏 名	備 考
新潟青陵大学看護福祉心理学部 看護学科	准教授	◎坪川 トモ子	H24 年度
	助教	◎伊豆 麻子	H23 年度
三条市老人クラブ連合会	保健部副部長	相田 秀作	
三条市医師会	会員	上村 旭	
見附市南蒲原郡医師会	理事	中嶋 俊明	
三条市歯科医師会	会長	相場 剛	
三条市薬剤師会	会員	横山 晴信	
新潟県栄養士会三条支部	副支部長	佐野 千代里	H24 年度
	副支部長	坪谷 節子	H23 年度
三条市健康推進員協議会	副会長	藤井 キヨ子	H24 年度
	副会長	五十嵐 愛子	H23 年度
三条市食生活改善推進委員協議会	副会長	鈴木 久子	
にいがた南蒲農業協同組合	地区担当理事	小出 好忠	
	役員	○名古屋 利夫	H24 年度
三条市自治会長協議会	役員	○皆木 英男	H23 年度
三条商工会議所	経営支援課長	小浦方 宜郷	
三条地域振興局健康福祉環境部	地域保健課長	長沢 京子	
三条市小中学校長会 (三条市立大島中学校)	校長	杉山 敏	H24 年度
	校長	佐藤 幸治	H23 年度

◎会長 ○職務代行

三条市歯科保健関係者会議 委員名簿

H23～24 年度

所 属	役 職	氏 名	備 考
三条市歯科医師会	副会長	近藤 鉄也	
三条市立裏館保育所	所長	水野 孝子	
三条市立第四中学校	養護教諭	古山 成子	
特別養護老人ホームつかのめの里	介護課長	菅原 英樹	
三条市健康推進員協議会	会長	山崎 千枝子	
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座	教授	葭原 明弘	
三条地域振興局健康福祉環境部 医薬予防課	課長	小野塚 孝	H24 年度
	課長	伊藤 和彦	H23 年度
	保健予防係 副参事	星野 明子	H24 年度
	保健予防係 副参事	佐藤 真理子	H23 年度
長岡地域振興局健康福祉環境部 医薬予防課	保健予防係長	高德 幸男	

「この計画は、こんな思いで作りました！」

～歯科保健関係者会議委員の皆さんからのメッセージ～



以前よりライフステージ全般で、何かしらの歯科保健施策が必要であると考えていました。今回、歯科口腔保健計画に携わり、その思いを計画に反映することができて、とても良かったと思っています。

三条市歯科医師会
副会長 近藤 鉄也さん

小さい時に、歯の大切さを知らせることの重要性を改めて感じました。子どもたちが『大人になっても健康で、いつまでもおいしく食べられますように』と願っています。

三条市立裏館保育所
所長 水野 孝子さん

子どもの時から歯磨きをし、おやつに歯ごたえのあるものをよく噛むことにより、顎も強くなり歯並びも良くなると思います。むし歯になったら早いうちに治療することで、歯医者さんに行く回数も少なくて済みます。私の体験を振り返り、大切なことだと感じました。

三条市健康推進員協議会
会長 山崎 千枝子さん

学校で歯科保健を推進する立場で計画策定に参加させていただき、学校では、やり尽くしている感のあった方策について、人のライフステージという観点から見直す機会となり、これからの取り組みに大変参考になりました。

三条市立第四中学校
養護教諭 古山 成子さん



歯科口腔保健計画が作成されたのは、市民がずっと健康であり続けてもらいたい、との願いからです。健康意識や行動が具体的に变化するには長期間必要かもしれませんが、地道な努力により達成は十分可能と考えています。

新潟大学大学院 医歯学総合
研究科 口腔生命福祉講座
教授 葭原 明弘さん

今回、高齢者、要介護者の立場から参加し、意見を述べさせていただきました。皆さんの熱意と歯科医師や各事業所が抱える問題点等も感じ、私自身も大変勉強になりました。この会議を活かし、施設においても口腔ケア、歯科検診に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

特別養護老人ホームつかのめの里
介護課長 菅原英樹さん

アンケートやグループインタビューに御協力いただいた市民の皆様に感謝申し上げます。市民の皆様の声から新しい視点を与えていただき、計画策定に関わる中で、私自身も“幸せを噛みしめる”ことができました。

長岡地域振興局健康福祉環境部医薬予防課
保健予防係長 高德幸男さん

みんなで夢や希望を語り合い、将来に向けて実現しようとしているものが計画という形になったと思っています。この三条市歯科口腔保健計画は、三条市の夢と希望がまとめられたものとなりました。

三条地域振興局健康福祉環境部医薬予防課
課長 小野塚 孝さん

計画完成に至る過程では、いつも熱い議論が交わされ、三条市の思いを受けて、学識経験者や歯科医師会等を交えた関係者が知恵とアイデアを出し合った成果としての計画です。実行性ある計画にしたいというこだわりもありました。今後は、計画が計画以上の成果に結びつくよう、期待しています。

三条地域振興局健康福祉環境部医薬予防課
保健予防係副参事 星野 明子さん

三条市歯科口腔保健計画

平成25年3月

発行/三条市

〒955-8686

新潟県三条市旭町二丁目3番1号

T E L (0256) 34-5511 (代)

F A X (0256) 34-5572 (健康づくり課)

ホームページ <http://www.city.sanjo.niigata.jp>

編集/福祉保健部健康づくり課